

§ 1. セットアップの方法

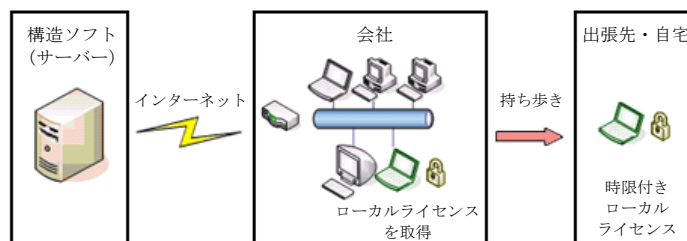
1.1 インストールを始める前に

弊社製品には不正使用および不正コピー防止の為、プロテクトが施されており、製品を使用する際には、インターネットを用いてライセンス認証を行います。

1.1.1 インターネットによるライセンス認証

(1) 概要

- 1) インターネット上の弊社サーバーでご購入頂いた製品のライセンス認証を行います。トラブルに備え、弊社内部と外部クラウドサーバーを設置しており、停電や災害等が起きた際には自動切換えしますので安心です。
- 2) 構造計算プログラムをご使用でトータルメンテナンス（「現場ナビ」シリーズをご使用の場合はネットワーク・ライセンス）を契約中のお客様は、複数台の PC にインストールでき、ライセンスを時差で共用使用することができます。平日は事務所で使用して休日は自宅等で弊社製品を使用するような運用も可能です。
- 3) 構造計算プログラムをご使用でトータルメンテナンス（「現場ナビ」シリーズをご使用の場合はネットワーク・ライセンス）を契約中のお客様は、インターネットへの接続環境の無い出張先や自宅等にノート PC を持ち歩いて使用することができます。以下の図のように一度インターネットに接続し、時限付きのローカルライセンスを取得することで利用可能です。



- 4) 構造計算プログラムをご使用でトータルメンテナンス（「現場ナビ」シリーズをご使用の場合はネットワーク・ライセンス）を契約されていないお客様は、インストールできる PC の数＝契約ライセンス数となり、最初に製品を起動した PC での固定した使用となります。PC の買い替え等で PC を変更する場合は、弊社ホームページより申込みおよび手数料が必要となります。
- 5) 最初にユーザー番号とパスワードをお知らせしますので、それを入力するだけで製品の使用を開始できます。ライセンス認証（取得と返却）は、自動的に行います。ライセンス認証の為の特別な操作は必要ありません。

(2) 特記事項

- 1) 製品起動時から終了時までインターネットに接続していることが条件となります。
- 2) インターネットへの常時接続環境が無い場合は、一度インターネットに接続し、ライセンスを一定期間ローカルに保持（時限付きのローカルライセンス）することで、その期間中はインターネットに接続しなくても利用可能です。
- 3) 弊社サーバーではライセンス認証のみを行います。ご購入頂いた製品は、使用する各 PC にインストールする必要があります。

(3) 複数個所でのご使用に関して

- 1) 構造計算プログラムをご使用でトータルメンテナンス（「現場ナビ」シリーズをご使用の場合はネットワーク・ライセンス）を契約中のお客様は、複数箇所から使用できますが、同時に使用できる（製品の起動ができる）のは購入ライセンス数までとなります。
- 2) 使用が許可されるのは、契約者が法人の場合はその会社の社員、個人の場合は本人に限られます。ただし、支店を持つ法人の場合は、契約した支店の社員のご利用に限られます。他の支店でもご利用になる場合は、弊社営業部までご相談ください。

1.1.2 プログラムの提供方法

弊社よりユーザー番号とインターネット認証ライセンス用のパスワードをメールで送信し、プログラムはインターネット経由のダウンロードにて提供することになります。

(1) 注意点

セキュリティ・ソフト（「マカフィー」「ウィルスバスター」「ノートン」等）がインストールされているとインストールや弊社製品の実行時に大きな影響を受けることがあります。

1) ウィルスチェック・ソフト

プログラムは圧縮ファイルとなっていますので、ダウンロード後にインストールを開始すると、まず解凍作業を行います。この時、ウィルスチェック・ソフトが動作していると、解凍したファイルを1つずつチェックしますのでインストールに時間がかかる場合があります。このような時は、インストールの開始前にウィルスチェック・ソフトを一時的に停止することでインストールをスムーズに行うことができます。

停止方法につきましては、ウィルスチェック・ソフトのマニュアルまたはヘルプを参照してください。なお、停止した場合、インストールが完了しましたら動作させて頂いて結構です。

2) パーソナルファイアウォール・ソフト

インストールを開始する前に、パーソナルファイアウォール・ソフトを可能な限り停止させてください。停止ができない場合は、弊社製品に関する通信をすべて許可してください。

停止や通信許可の方法につきましては、パーソナルファイアウォール・ソフトのマニュアルまたはヘルプを参照してください。なお、停止した場合、インストールが完了しましたら動作させて頂いて結構です。

1.2 インストールの順序

ここでは、インストールの手順を説明します。初めて弊社製品をインストールする場合と、既に弊社製品をお使い頂いているお客様が追加で製品をご購入いただいた場合で手順等が違いますので、よくご確認の上インストールを行ってください。

1.2.1 初めて弊社製品をインストールする場合の順序

初めて弊社製品をインストールする手順は以下のようになります。操作は弊社より出荷に関するメールが届いてから行ってください。

既に弊社製品をお使いのお客様が新しいPCを購入した場合も同様の手順となりますが、構造計算プログラムをご使用でトータルメンテナンスに契約されていないお客様の場合は、事前に弊社ホームページより PC 変更の申込みおよび手数料が必要となります。

- (1) 「構造ソフト ライセンスマネージャ」のダウンロード&インストール…………… p. 1- 7
(インターネット認証ライセンスを行う為ソフト)
- (2) ご購入製品のダウンロード&インストール…………… p. 1-11
(例：「BUILD. 一貫VI」「BUILD. 耐診 RC」シリーズなど購入した製品)
- (3) 「オープンオフィス ドット OpenOffice.org」の設定※ …………… p. 1-43
(チェックリストや概要書等を自動作成及び編集する時に使用するソフト)

※ 「OpenOffice.org」を使用するプログラムは以下の製品のみです。

「BUILD. 一貫V」「BUILD. 壁式V」「BUILD. 耐診壁式」

1.2.2 追加で弊社製品をご購入またはバージョンアップした場合の順序

既に弊社製品をお使いいただいている方が、追加で製品をご購入またはバージョンアップした場合のインストール手順は以下のようになります。操作は弊社より出荷に関するメールが届いてから行ってください。

- (1) 旧バージョンの「構造ソフト ライセンスマネージャ」を削除^{※1}…………… p. 1-47
(インターネット認証ライセンスを行う為ソフト)
- (2) 「構造ソフト ライセンスマネージャ」のダウンロード&インストール…………… p. 1- 7
(インターネット認証ライセンスを行う為ソフト)
- (3) ご購入製品のダウンロード&インストール^{※2}…………… p. 1-11
(例:「BUILD. 一貫VI」「BUILD. 耐診 RC」シリーズなど購入した製品)
- (4) 「OpenOffice.org」の設定^{※3}…………… p. 1-44
(オープンオフィス ドット オルグチェックリストや概要書等を作成する時に使用するソフト)

※1 「構造ソフト ライセンスマネージャ」が最新バージョンの場合、この操作は必要ありません。なお、2009年6月以前は「構造ソフト プロテクトマネージャ」あるいは「ハードウェアプロテクトユーティリティ」という名称でしたので、古い製品を使用していた場合は、「構造ソフト プロテクトマネージャ」あるいは「ハードウェアプロテクトユーティリティ」を削除してください。

※2 「物件管理システム」対応製品（「BUILD. 一貫V」「BUILD. 一貫免震オプション」「BUILD. 限界耐力Ⅲ」「BUILD. DD1」「BUILD. DD2000」「BUILD. WAVE2000」「BUILD. 地盤柱状」「CADY-構造図/リスト」「CADY-構造図/リスト Light」「CADY-構造図/伏軸」「BUILD. 耐診 S 造準備計算」）および「BUILD. 耐診 RC」「BUILD. 耐診 S 造」「BUILD. 耐診 S 体育館」「BUILD. 3SⅡ」シリーズのオプションプログラムをご購入いただいた場合は、「1.6 アンインストール（プログラムをハードディスクから削除する）」を参照して、既にインストールされている製品を一度削除した後に、再度新しいプログラムのダウンロード&インストールを行ってください。

※3 「OpenOffice.org」を使用するプログラムは以下の製品のみです。既に一度設定を行っている場合は、再度設定する必要はありません。

「BUILD. 一貫V」「BUILD. 壁式V」「BUILD. 耐診壁式」

1.2.3 既に弊社製品をお使いで最新バージョンにしたい場合の順序

既に弊社製品をお使いいただいている方が、各プログラムを最新バージョンにする場合の手順は以下ようになります。

- (1) インストールされている旧バージョンのプログラムを削除…………… p. 1-47
- (2) 各プログラムのダウンロード&インストール※…………… p. 1-11
(例：「BUILD. 一貫VI」「BUILD. 耐診 RC」シリーズなど購入した製品)

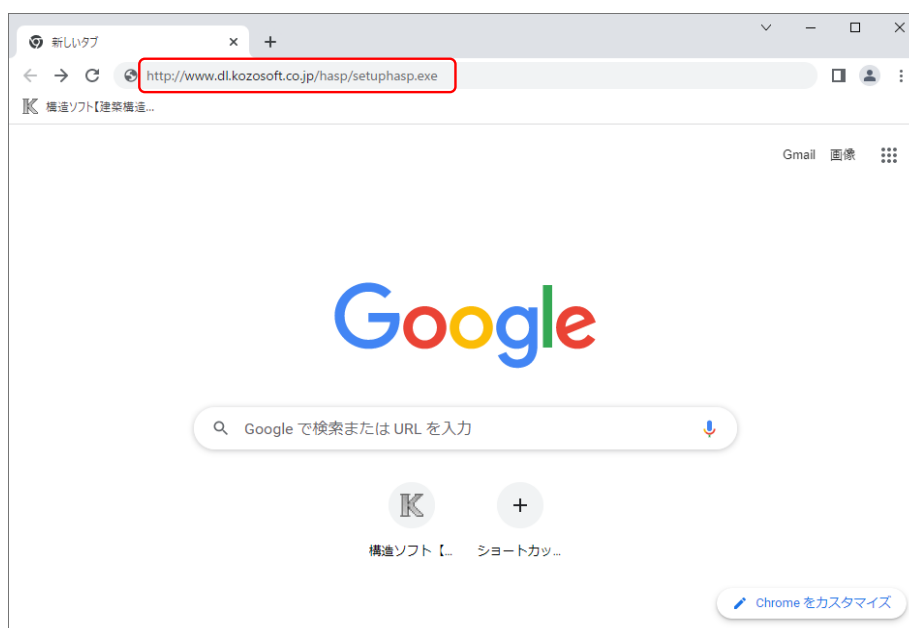
※ 「構造ソフト ライセンスマネージャ」を使用せず、弊社のホームページから各製品のダウンロード&インストールを行うことも可能です。

1.3 「構造ソフト ライセンスマネージャ」のダウンロード&インストール

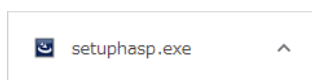
管理者 (Administrator) のユーザーアカウントで Windows にログインして、インストールの操作を行ってください。

- 1) はじめに「構造ソフト ライセンスマネージャ」をダウンロード&インストールする必要があります。ブラウザを起動し、以下のアドレスを入力してキーボードの[Enter]キーを押します。

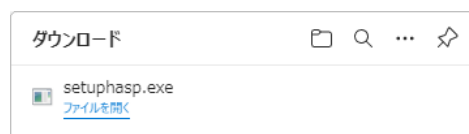
<http://www.dl.kozosoft.co.jp/hasp/setuphasp.exe>



- 2) セットアップファイル (setuphasp.exe) のダウンロードを開始します。ダウンロードが終了すると、ブラウザの画面左下や右上に以下のような表示がされます。



「Google Chrome」の場合（画面左下に表示）

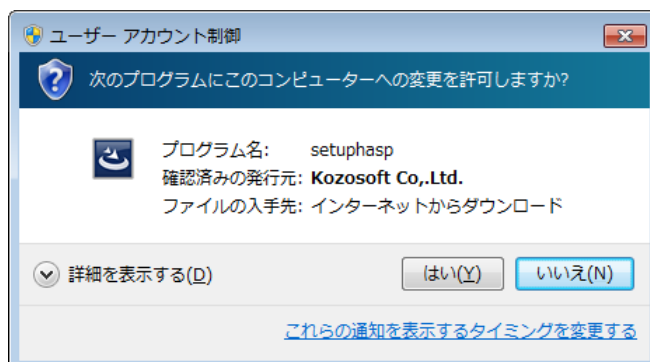


「Microsoft Edge」の場合（画面右上に表示）

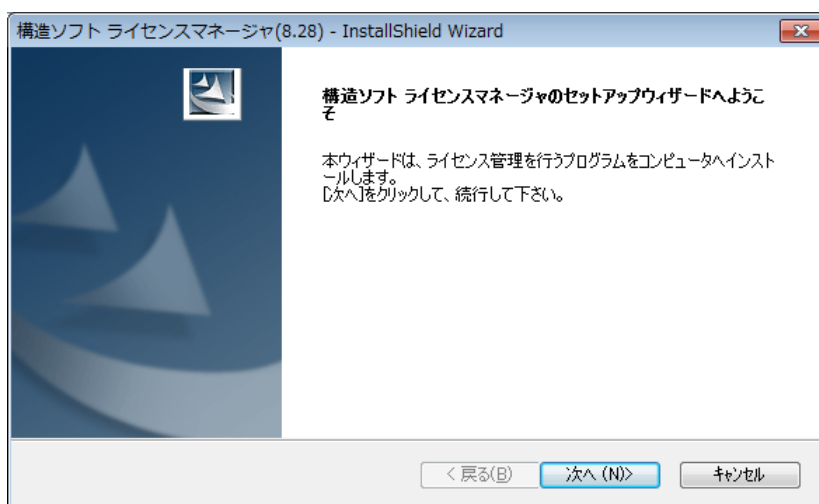
- 3) 上記の画面を選択してダウンロードしたファイルを選択して実行します。セットアップファイル (setuphasp.exe) は[ダウンロード]フォルダに保存されていますので、後で「エクスプローラー」から実行することも可能です。

1.3 「構造ソフト ライセンスマネージャ」のダウンロード&インストール

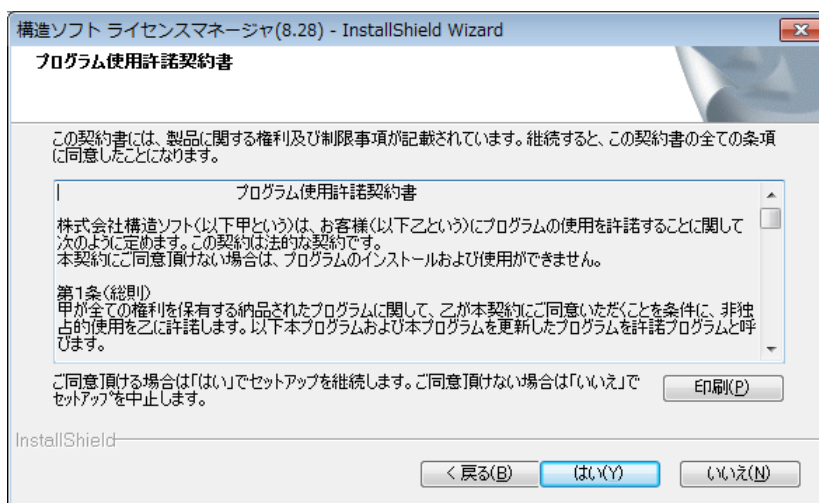
- 4) しばらくすると、以下の画面が表示されるので[はい(Y)] ボタンを押してください。インストールを開始します。



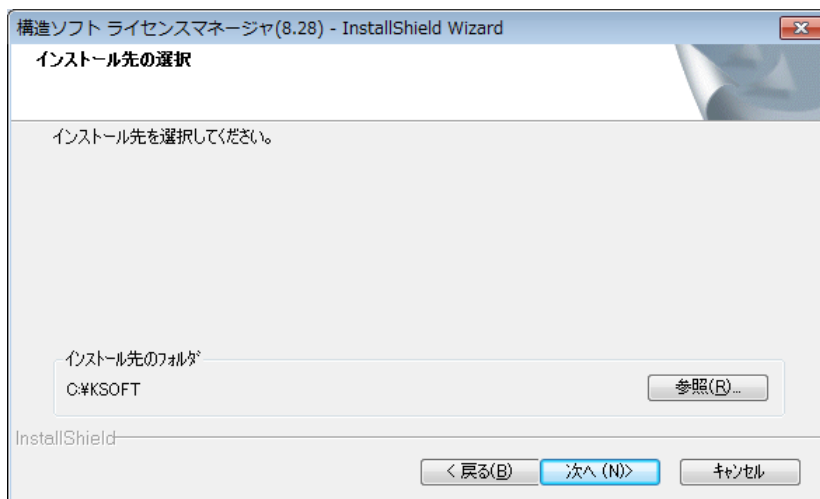
- 5) 以下の画面がされるので[次へ(N) >]ボタンを押してください。



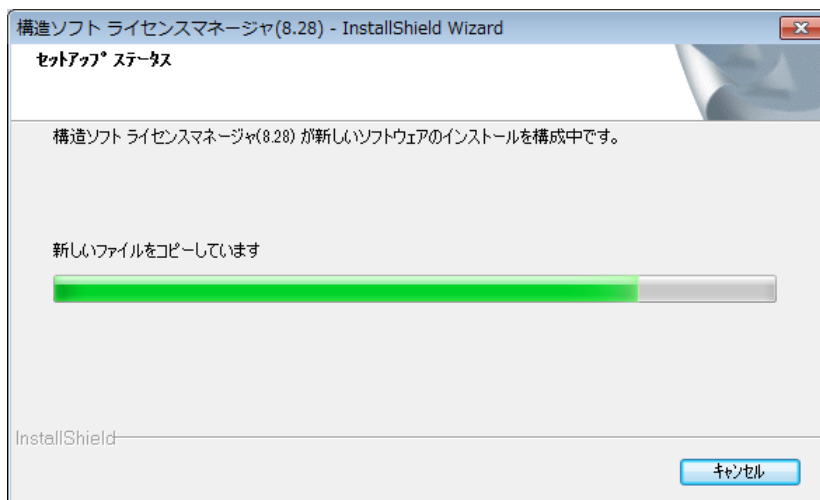
- 6) 以下の画面が表示されるので、メッセージを読んで[はい(Y)]ボタンを押してください。



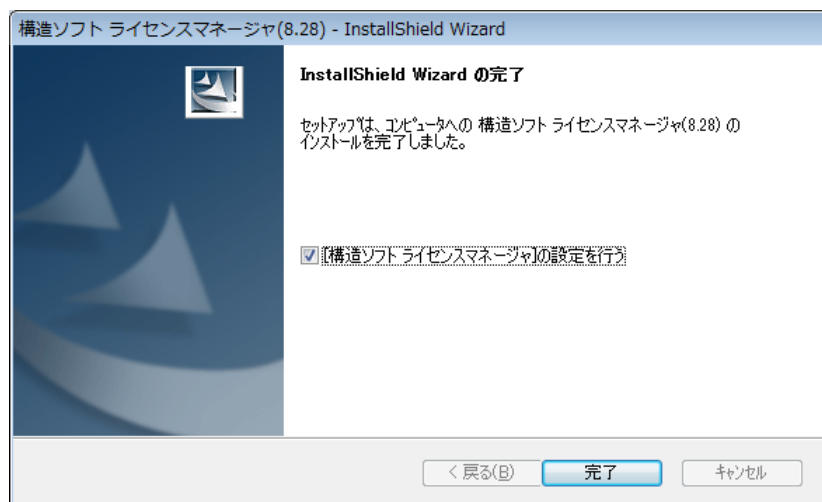
- 7) 以下の画面が表示され、インストール先ディレクトリに初期値として“C:\¥Ksoft¥”が指定されているので、よろしければそのまま[次へ(N) >]ボタンを、変更するのであれば、[参照(R)...]ボタンを押してインストール先を変更してから[次へ(N) >]ボタンを押してください。通常は“C:\¥Ksoft¥”のまま構いません。



- 8) 以下の画面が表示され、インストールが行われます。そのまましばらくお待ちください。



- 9) しばらくすると、以下の画面が表示されるので**[完了(F)]**ボタンを押してください。「構造ソフト ライセンスマネージャ」のインストールはこれで終了です。



- 10) 続いて「構造ソフト ライセンスマネージャ」を使用して、ご購入した製品のダウンロード&インストールを行います。9) の画面で「 [構造ソフト ライセンスマネージャ] の設定を行う」を選択している場合、「構造ソフト ライセンスマネージャ」が自動的に起動します。操作方法は、次ページの「1.4 ご購入製品のダウンロード&インストール」を参照してください。

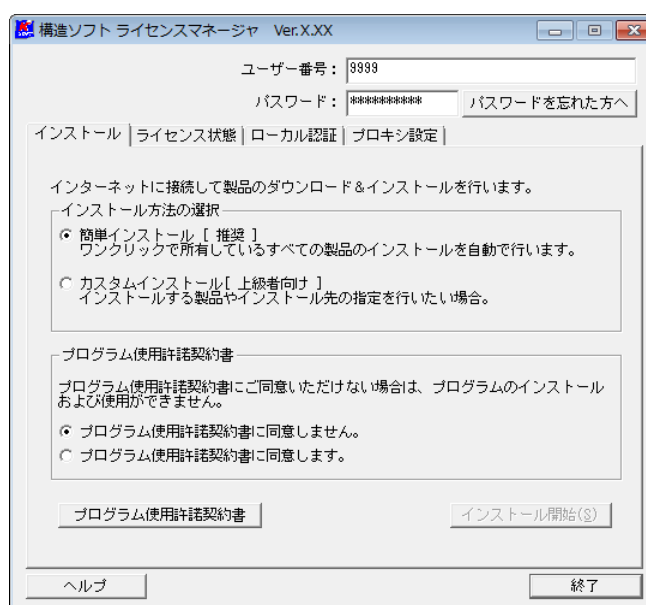
1.4 ご購入製品のダウンロード&インストール

ご購入した製品のプログラムのインストール&ダウンロードは、「構造ソフト ライセンスマネージャ」を使用して行います。なお、インターネットに接続できる環境である必要があります。

「構造ソフト ライセンスマネージャ」にはインターネット認証に関する様々な機能がありますが、ここではダウンロード&インストールに必要な最低限の操作方法のみを説明しています。その他の機能については、「1.7 「構造ソフト ライセンスマネージャ」の機能」を参照してください。

1.4.1 操作手順

- 1) 「構造ソフト ライセンスマネージャ」のインストールが完了すると自動的に起動します。なお、自動で起動するのは初めてインストールした時のみです。

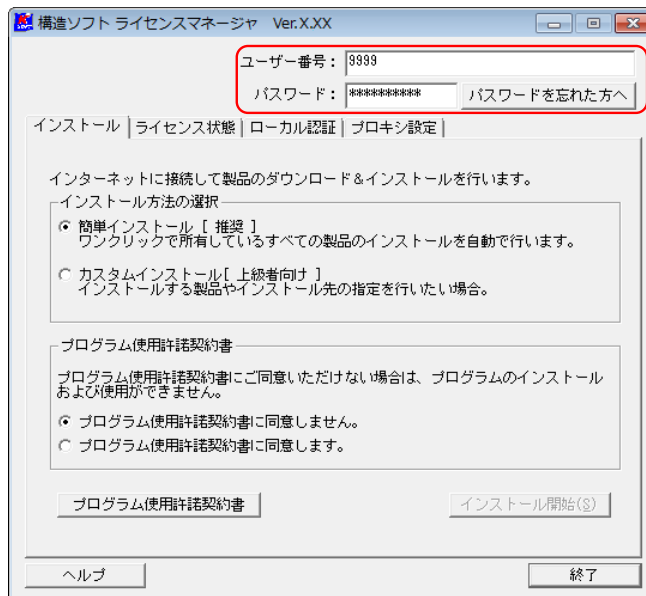


- 2) 「構造ソフト ライセンスマネージャ」が起動していない場合は、[スタート(Windowsのマーク)]をクリックし、[構造ソフト]フォルダ内の[構造ソフト ライセンスマネージャ]アイコンをクリックします。

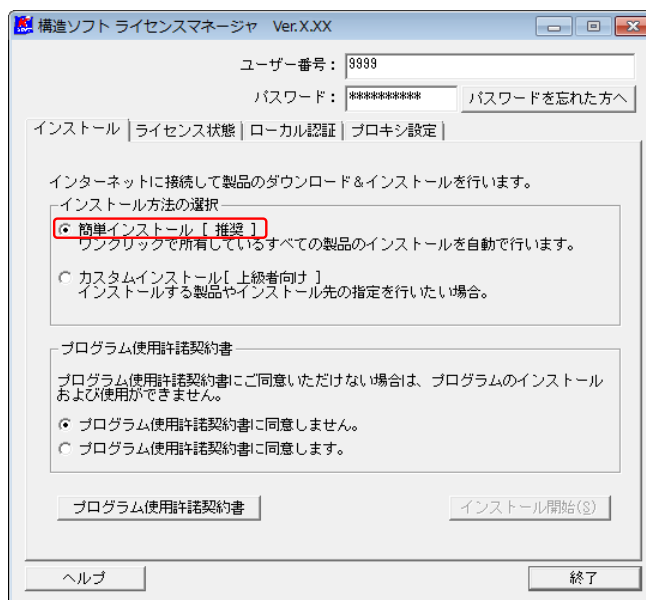


※ 「構造ソフト ライセンスマネージャ」の起動は、管理者 (Administrator) のユーザーアカウントに限定されています。1台のPCを複数人で使用し、かつユーザーアカウントごとに権限 (例: Aさんは管理者、Bさんは標準ユーザー) を割り当てて運用している場合、管理者 (Administrator) 以外のユーザーアカウントでは起動することはできません。

- 3) 弊社よりメールでお送りしているユーザー番号とパスワードを、それぞれ「ユーザー番号」と「パスワード」の入力欄に入力してください。誤入力されると、ダウンロード&インストールができませんので、コピー&ペーストでの入力をお勧めします。

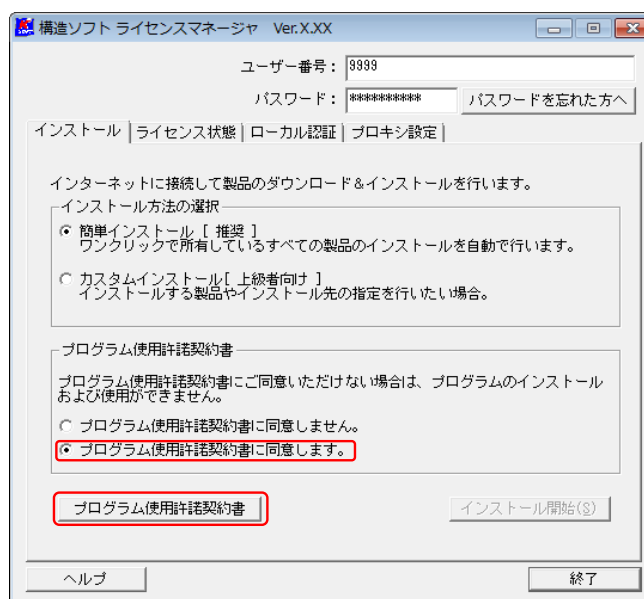


- 4) インストールの方法には、「簡単インストール」と「カスタムインストール」があります。通常は、「簡単インストール」を選択します。

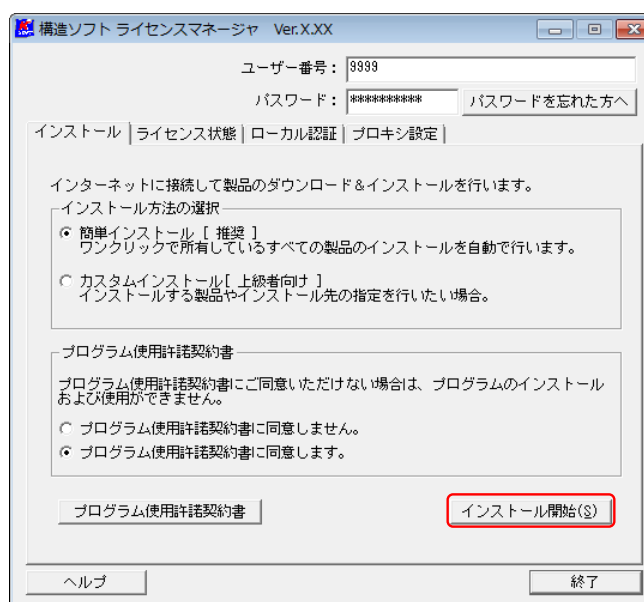


- ・簡単インストール ……ワンクリックで所有しているすべての製品のインストールを自動的に行います。インストール先は“C:\YKsoft”となります。
- ・カスタムインストール ……インストールする製品やインストール先の指定を行いたい場合に使用します。詳細は「1.4.1 カスタムインストール」を参照してください。

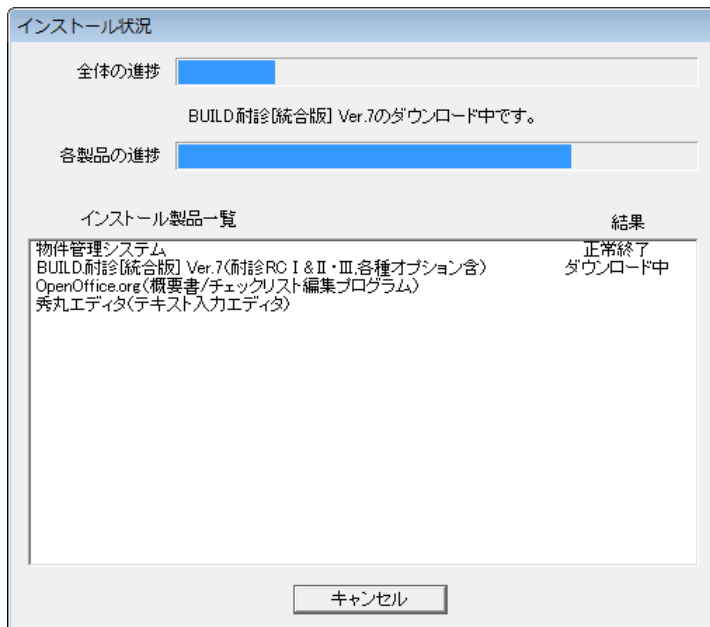
- 5) [プログラム使用許諾契約書]ボタンを押すと、PDF ファイルでプログラム使用許諾契約書が表示されます。その内容にご同意を頂ける場合は「プログラムの使用許諾契約書に同意します。」を選択します。



- 6) [インストール開始(S)]ボタンを押すと、インストールを開始します。



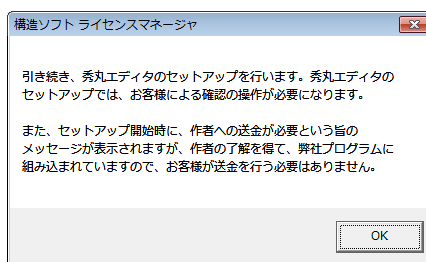
- 7) インストールの状況が表示されます。所有しているすべての製品をインストールする為、しばらく時間を要しますので、そのままお待ちください。なお、「OpenOffice.org^{※1}」「秀丸エディタ^{ひでまる}」を使用する製品をご購入されている場合は、併せてインストールを行います。



※1 インストール先は“C:\Program Files”になります。なお、「OpenOffice.org」を使用するプログラムは以下の製品のみです。

「BUILD. 一貫V」「BUILD. 壁式V」「BUILD. 耐診壁式」

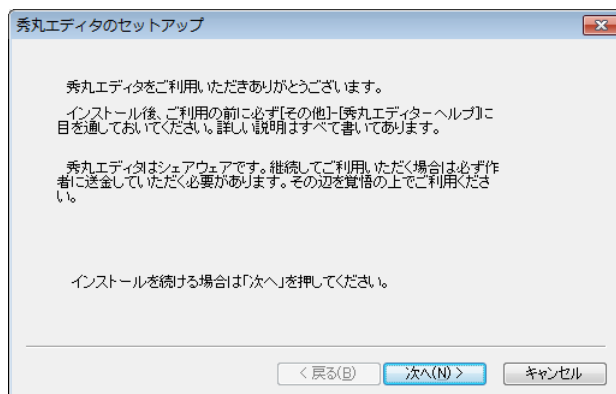
- 8) 「秀丸エディタ^{※2}」を使用する製品をご購入されている場合は、各製品を自動でインストールした後に、以下の画面が表示されるので、[OK]ボタンを押してください。



※2 インストール先は“C:\Program Files”になります。ただし、以下のプログラムの場合は、「秀丸エディタ」は使用しませんので、この画面および以後の 9)～13)の画面は表示されません。

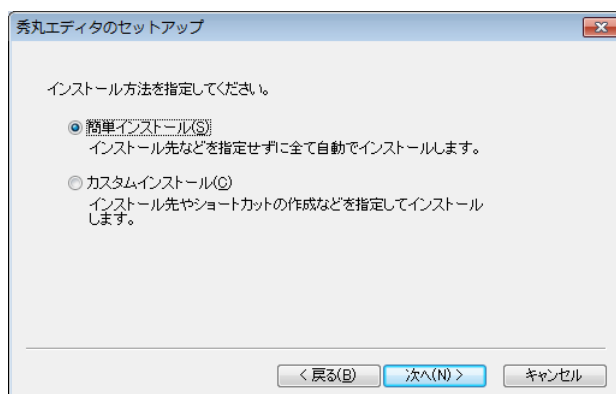
「BUILD. 壁式V」「BUILD. 耐診壁式」「BUILD. 杭保有」「BUILD. 積算II (Light含む)」「BUILD. 耐診S 体育館/平成18年版」「BUILD. 耐診S造/2011年版」「BUILD. WAVE2000」「BUILD. 地盤・柱状」シリーズ「CADY-構造図/リスト (Light含む)」「CADY-構造図/伏軸」「POWER-Designer」シリーズ「POWER-UP」シリーズ

- 9) 「秀丸エディタ[※]」のセットアップを行います。その際、以下の画面が表示されるので、メッセージを読んで[次へ(N)]ボタンを押してください。なお、「秀丸エディタはシェアウェアです。継続してご利用いただく場合は必ず作者に送金していただく必要があります。」と記載されていますが、お客様が送金を行う必要はありません。

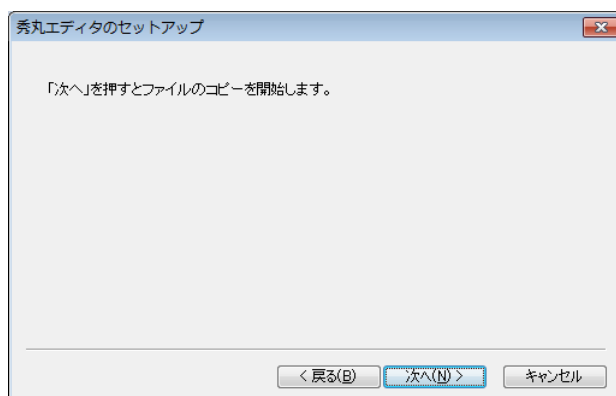


※ 作者は斉藤秀夫さんです。作者の了解を得て、弊社プログラムに組み込まれています。

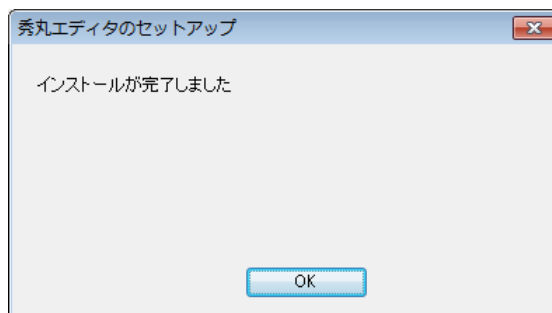
- 10) 以下の画面が表示されるので、「簡単インストール」が選択されていることを確認して、[次へ(N)]ボタンを押してください。



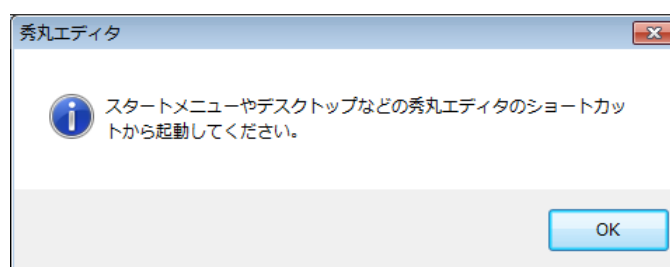
- 11) 以下の画面が表示されるので、[次へ(N)]ボタンを押してください。



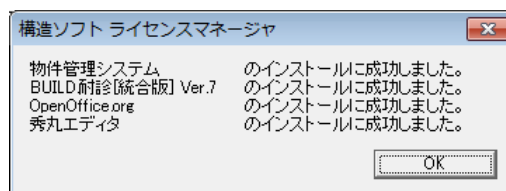
- 12) しばらくすると、以下の画面が表示されるので、[OK]ボタンを押してください。



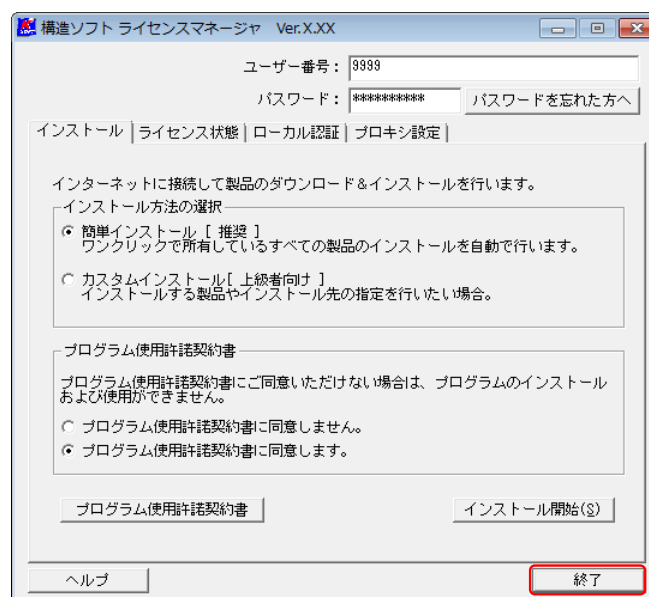
- 13) 以下の画面が表示されるので、[OK]ボタンを押してください。



- 14) インストールがすべて終了すると、以下のような画面が表示されるので、[OK]ボタンを押してください。



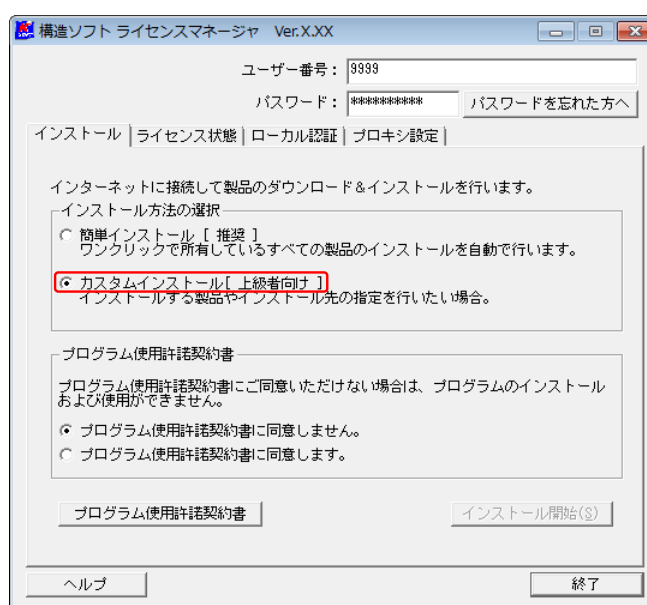
- 15) [終了]ボタンを押して「構造ソフト ライセンスマネージャ」を終了してください。



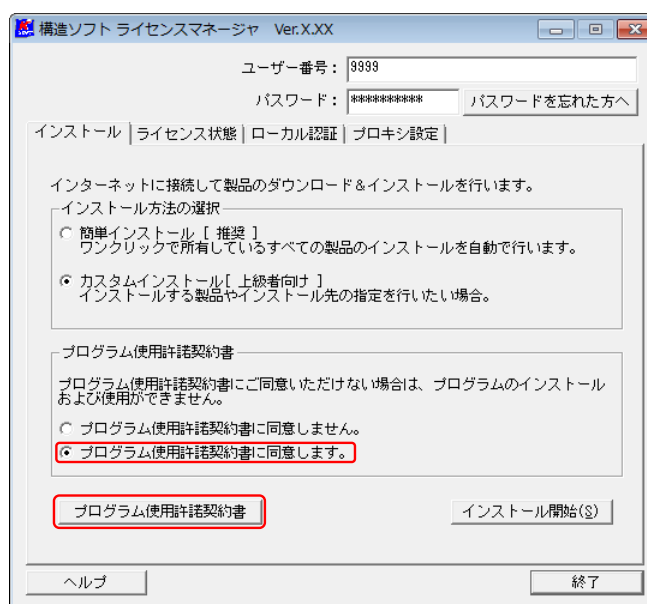
1.4.2 カスタムインストール

「カスタムインストール」は、インストールする製品やインストール先の指定を行いたい場合に使用します。

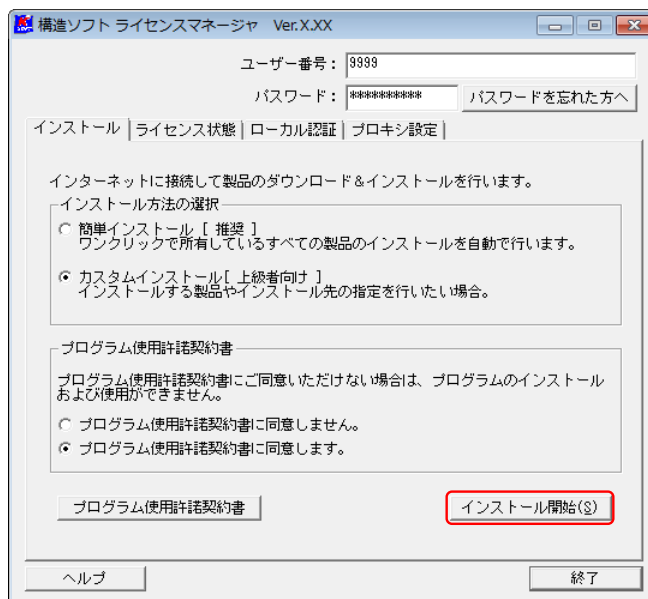
- 1) 「構造ソフト ライセンスマネージャ」以下の画面で「カスタムインストール」を選択します。



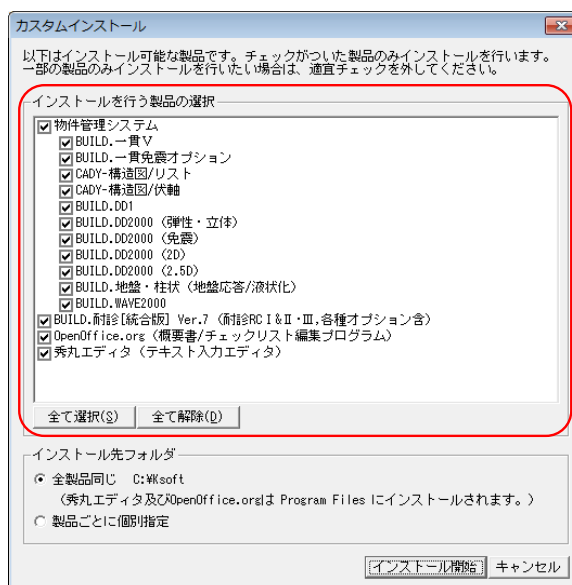
- 2) [プログラム使用許諾契約書] ボタンを押すと、PDF ファイルでプログラム使用許諾契約書が表示されます。内容をご確認いただき、「プログラムの使用許諾契約書に同意します。」を選択します。



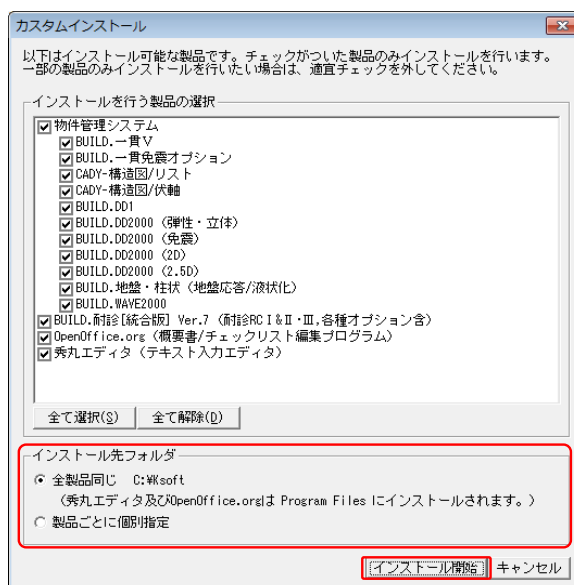
- 3) [インストール開始(S)]ボタンを押します。



- 4) 所有している製品が表示されます。チェック (☑) が付いた製品のみインストールを行いますので、一部の製品のみインストールを行いたい場合は、適宜チェックを外してください。



- 5) インストール先フォルダを「全製品同じ」か「製品毎に個別指定」から選択して、[インストール開始(S)]ボタンを押します。

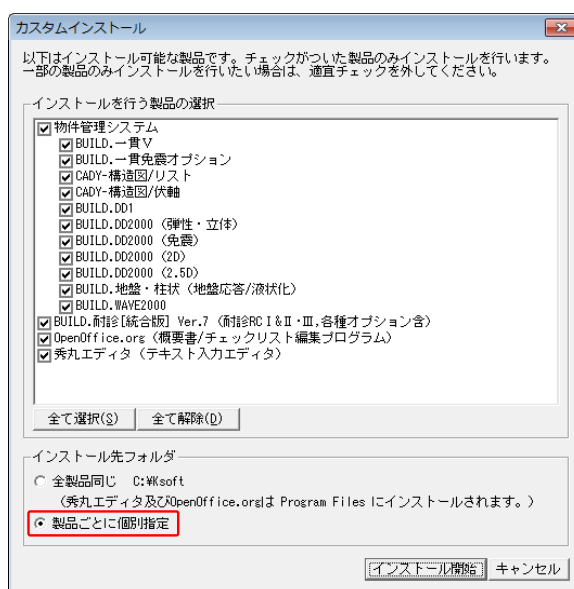


- ・ 全製品同じ
 - ・・・途中で中断することなく、前述の 4) で選択した製品を連続してインストールします。インストール先は“C:¥Ksoft”となります（ただし「秀丸エディタ」と「OpenOffice.org」は“C:¥Program Files”）。
 - [インストール開始(S)]ボタンを押した後の操作は「単インストール」の場合と同じになりますので、p. 1-13 の 7) 以降を参照してください。
- ・ 製品毎に個別指定
 - ・・・前述の 4) で選択した製品毎にセットアップ画面が起動し、のインストール先の選択や各種の確認を行いながらインストールを行うこととなります。詳細は「1.4.2 製品毎に個別指定」を参照してください。

1.4.3 製品毎に個別指定

「カスタムインストール」でインストール先フォルダを「製品毎に個別指定」にした場合の操作を説明します。

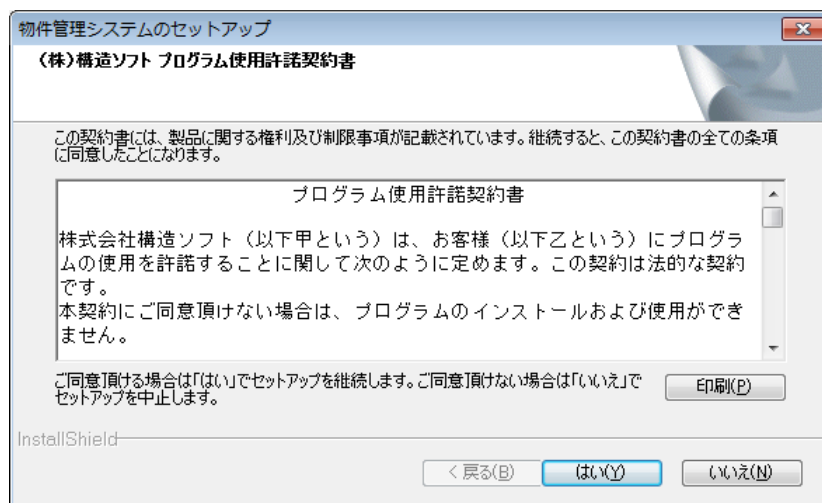
以下の画面で [インストール開始(S)] ボタンを押した後に、製品毎にセットアップ画面が起動します。なお、製品によって表示される画面が若干異なります。



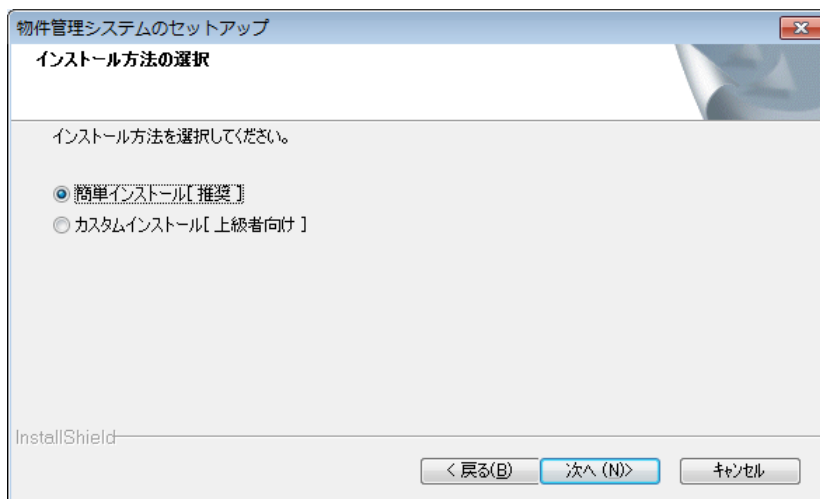
- (1) 「物件管理システム」対応製品の場合のセットアップ画面（「BUILD.一貫V」等）

「物件管理システム」対応製品とは、上記画面で「物件管理システム」の右下にツリー状で表示されている製品です。

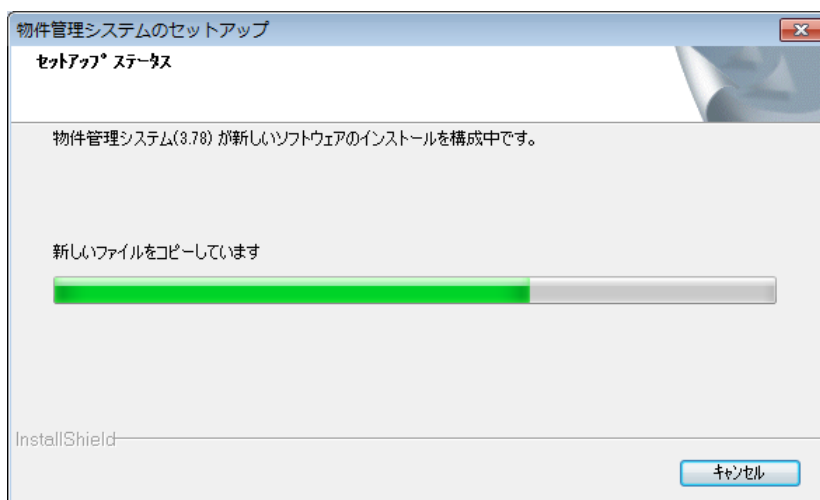
- 1) 以下の画面が表示されるので、ソフトウェア使用権許諾契約書をお読み頂き、その内容にご同意を頂ける場合は[はい(Y)]ボタンを押してください。



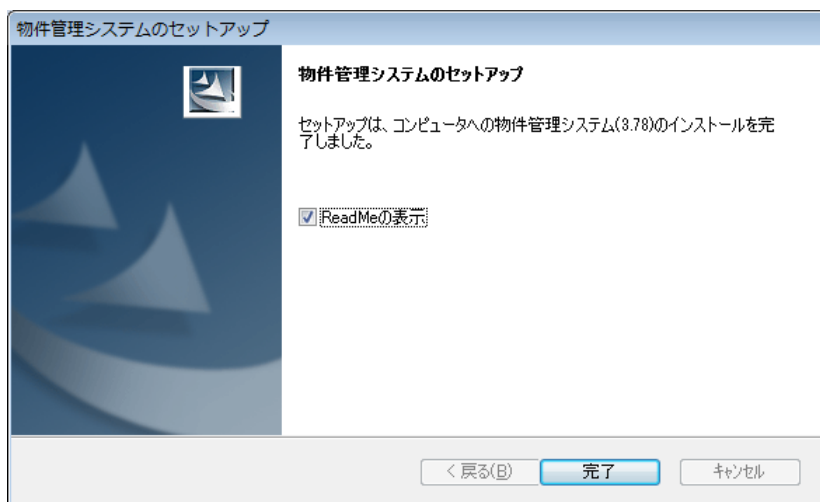
- 2) 以下の画面が表示されるので、インストールの方法を選択して[次へ(N)]>ボタンを押してください。「簡単インストール」は、所有している「物件管理システム」対応製品をすべてC:\Ksoft¥にインストールします。「カスタムインストール」は、インストールする製品やインストール先の指定を行いたい場合に選択します。



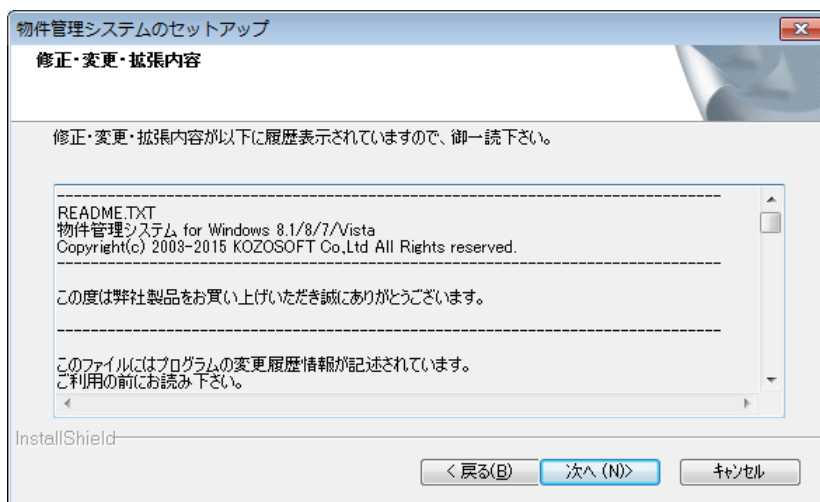
- 3) 「簡単インストール」を選択した場合は、以下の画面が表示され、インストールが行われます。そのまましばらくお待ちください。



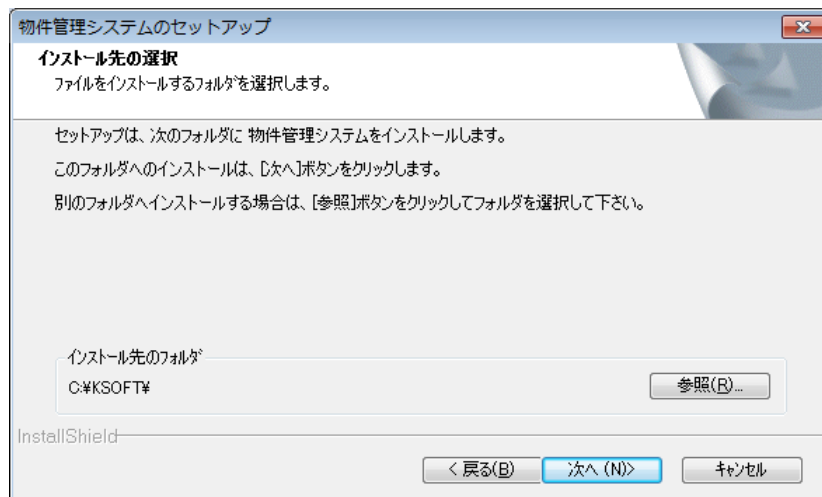
- 4) しばらくすると、以下の画面が表示されるので、[完了]ボタンを押してください。これで「物件管理システム」のセットアップは完了です。



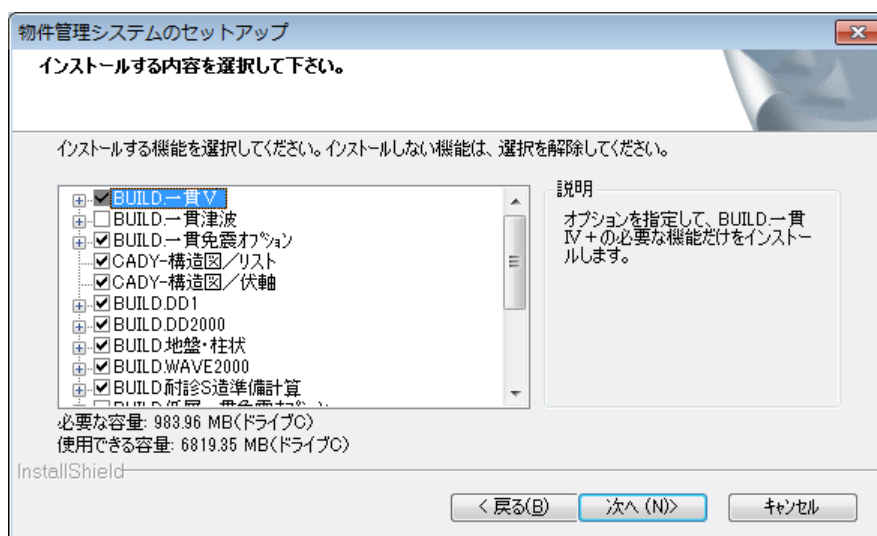
- 5) もし、前述の 2) で「カスタムインストール」を選択した場合は、以下の画面が表示されるので、[次へ(N) >]ボタンを押してください。



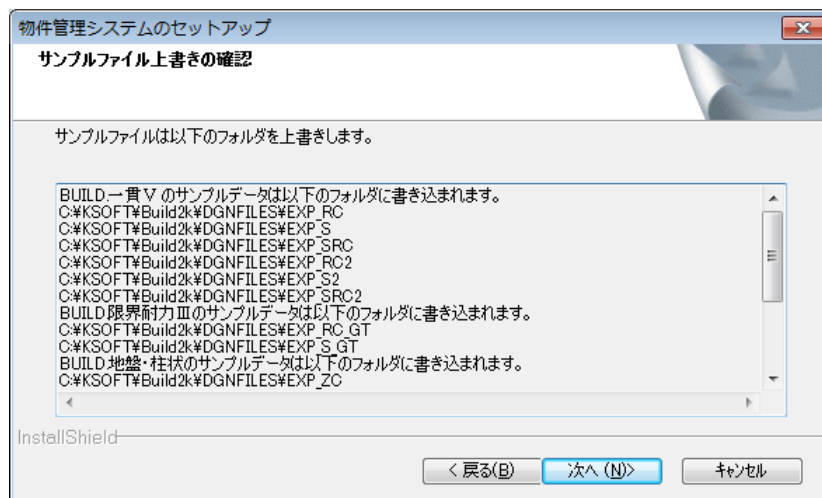
- 6) 以下の画面が表示され、インストール先のフォルダに初期値として“C:\Ksoft¥”が指定されているので、よろしければそのまま[次へ(N)]ボタンを、変更するのであれば[参照(R)...]ボタンを押してインストール先を変更してから[次へ(N)]ボタンを押してください。



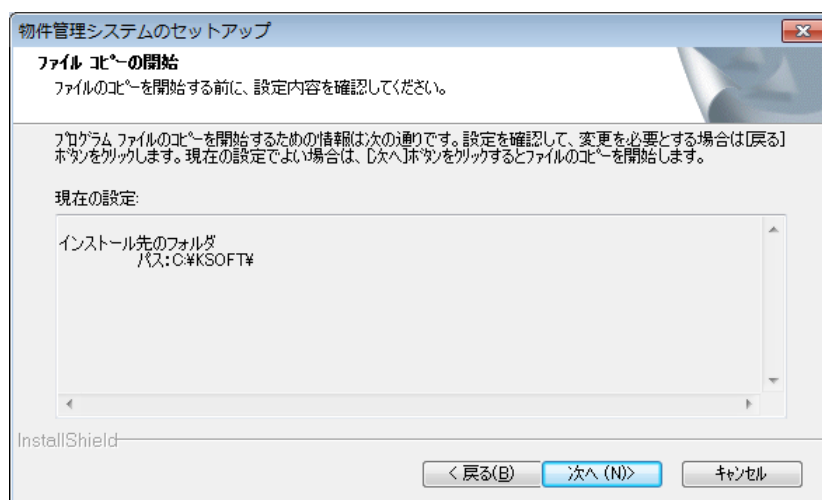
- 7) 以下の画面が表示されます。チェック (☑) が付いた製品のみインストールを行いますので、一部の製品のみインストールを行いたい場合は、適宜チェックを外してください。[次へ(N)]ボタンを押してください。



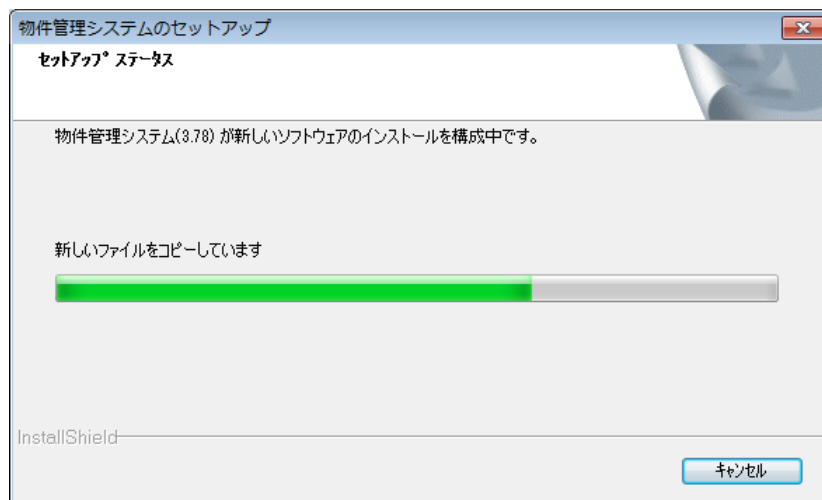
- 8) 以下の画面が表示されるので、[次へ(N) >]ボタンを押してください。



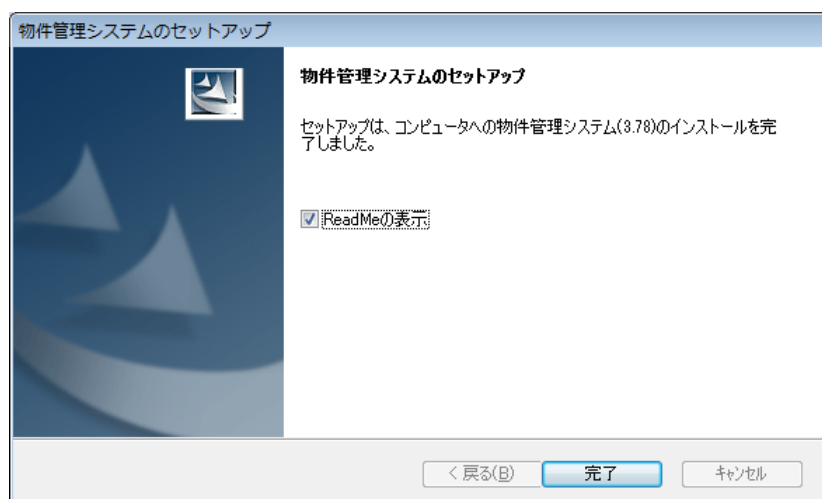
- 9) 以下の画面が表示されるので、今まで入力したものを確認し、よろしければ[次へ(N) >]ボタンを、変更箇所があるのであれば[戻る(B)]ボタンを押してください。



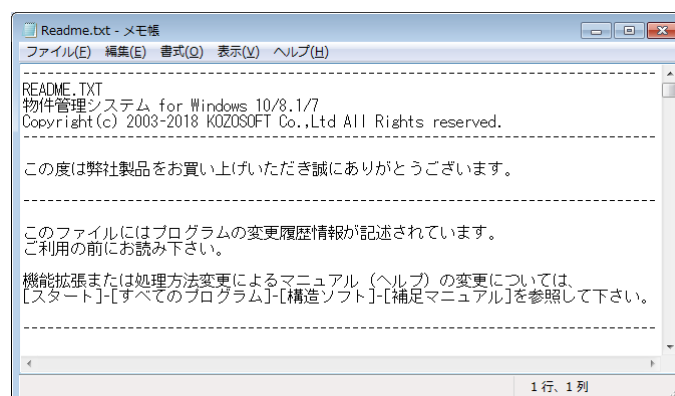
- 10) 以下の画面が表示され、インストールが行われます。そのまましばらくお待ちください。



- 11) しばらくすると、以下の画面が表示されるので、[完了]ボタンを押してください。これで「物件管理システム」のセットアップは完了です。

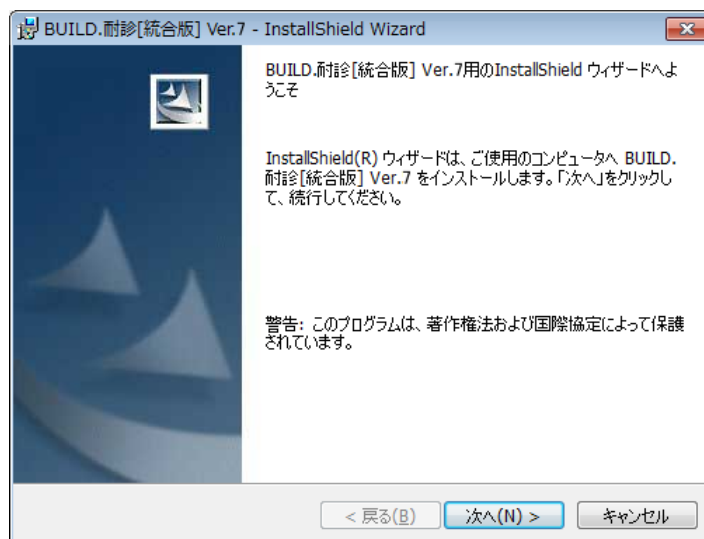


- 12) 「メモ帳」が起動して修正履歴情報が記述された Redme.txtが表示されます。画面右上の[×]で終了してください。

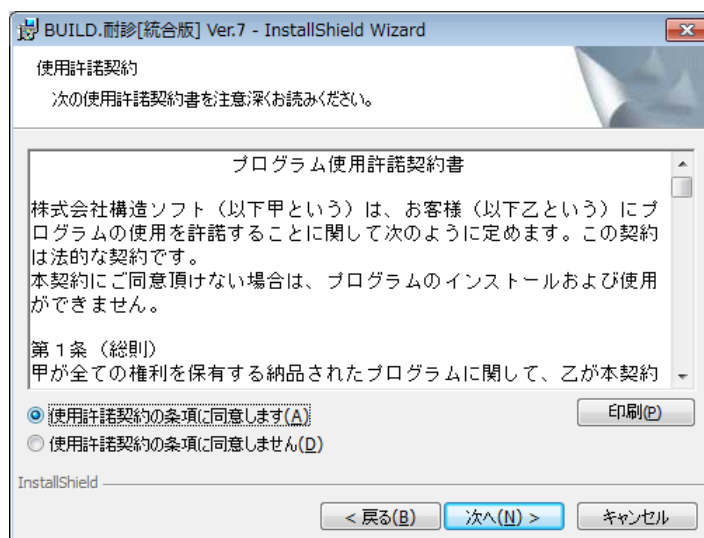


(2) 「物件管理システム」対応製品以外の場合のセットアップ画面（「BUILD. 耐診[統合版]Ver. 7」等）

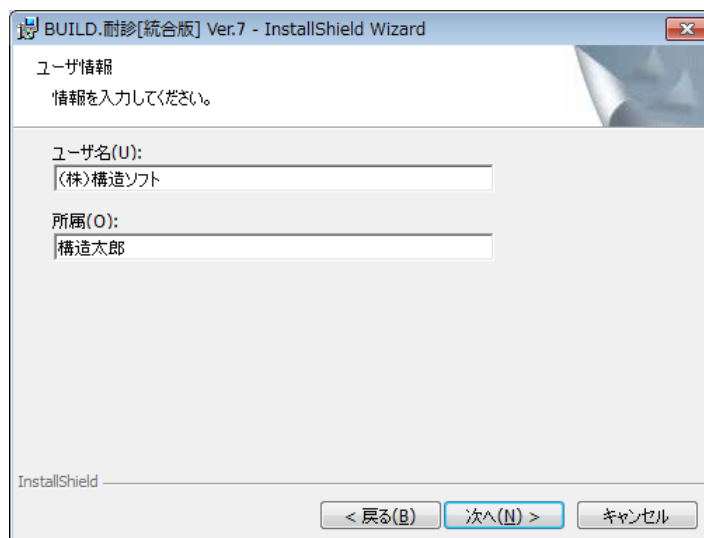
1) 以下の画面が表示されるので、[次へ(N) >]ボタンを押してください。



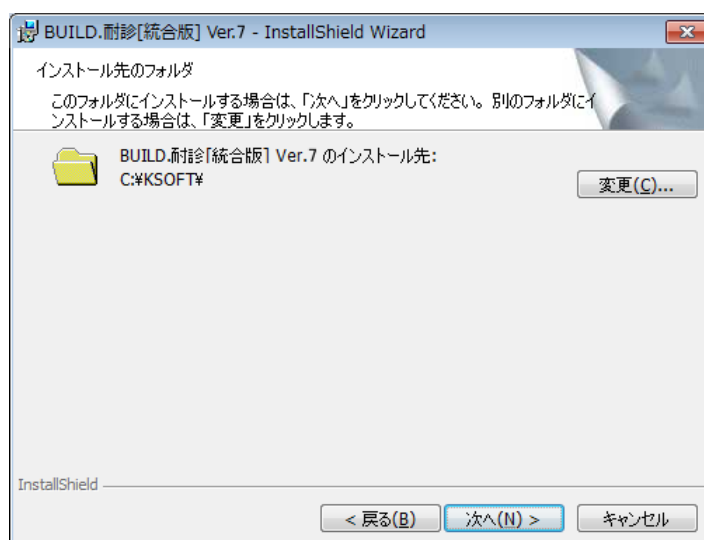
2) 以下の画面が表示されるので、ソフトウェア使用権許諾契約書をお読み頂き、その内容にご同意を頂ける場合は「使用許諾契約に同意します(A)」を選択して[次へ(N) >]ボタンを押してください。



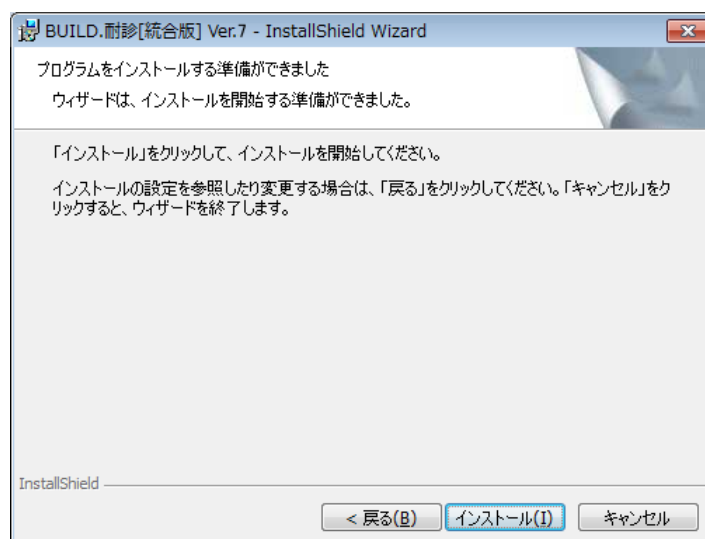
- 3) 以下の画面が表示され、Windows にセットされた情報から「ユーザ名 (U)」と「所属 (O)」が自動的に入力されます。変更の必要があれば変更してから [次へ (N) >] ボタンを押してください。



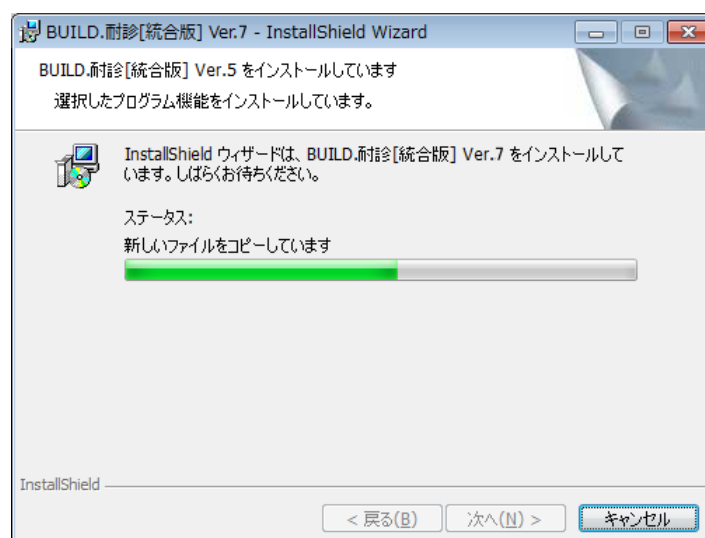
- 4) 以下の画面が表示され、インストール先のフォルダに初期値として“C:\Ksoft¥”が指定されているので、よろしければそのまま [次へ (N) >] ボタンを、変更するのであれば、[変更 (C) ...] ボタンを押してインストール先を変更してから [次へ (N) >] ボタンを押してください。



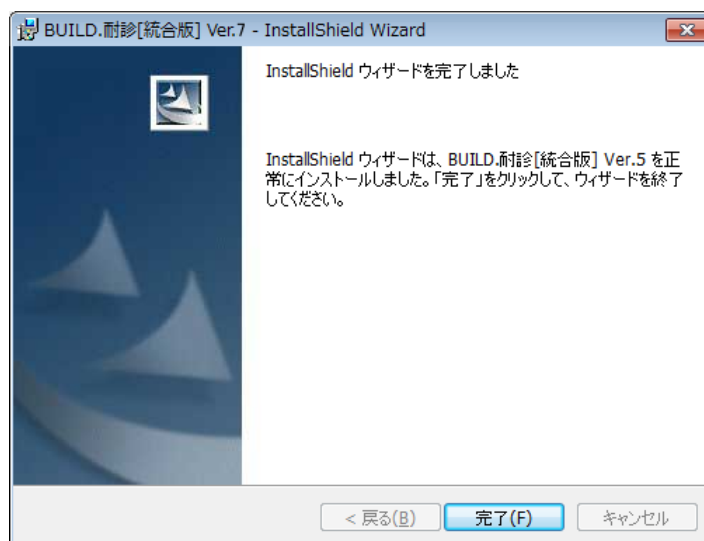
- 5) 以下の画面が表示されるので、[インストール(I)]ボタンを押してください。



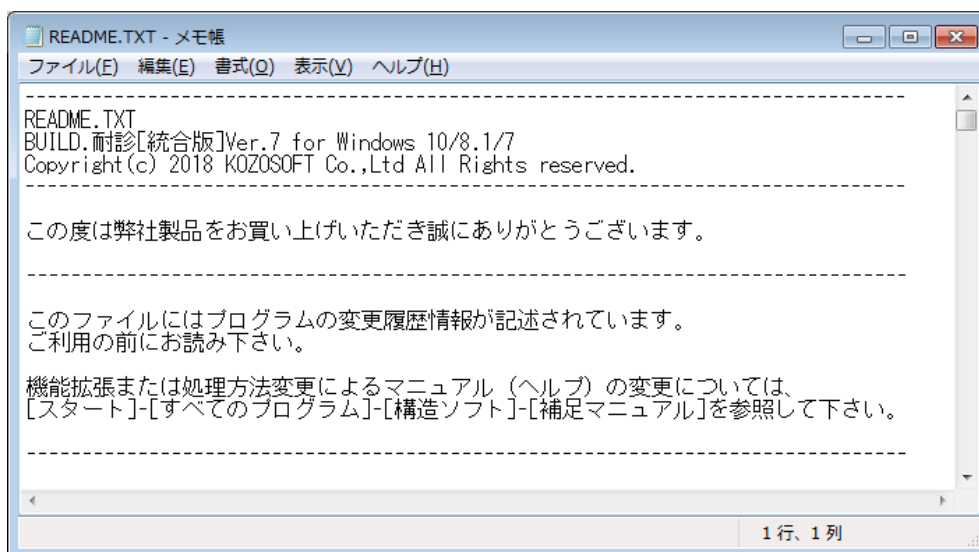
- 6) 以下の画面が表示され、インストールが行われます。そのまましばらくお待ちください。



- 7) しばらくすると、以下の画面が表示されるので、[完了(F)]ボタンを押してください。セットアップはこれで終了です。

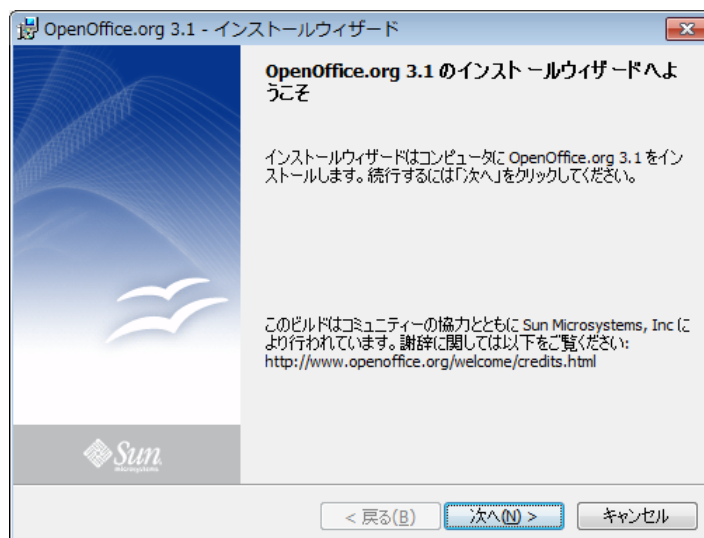


- 8) 「メモ帳」が起動して修正履歴情報が記述された Redme.txt が表示されます。画面右上の[×]で終了してください。

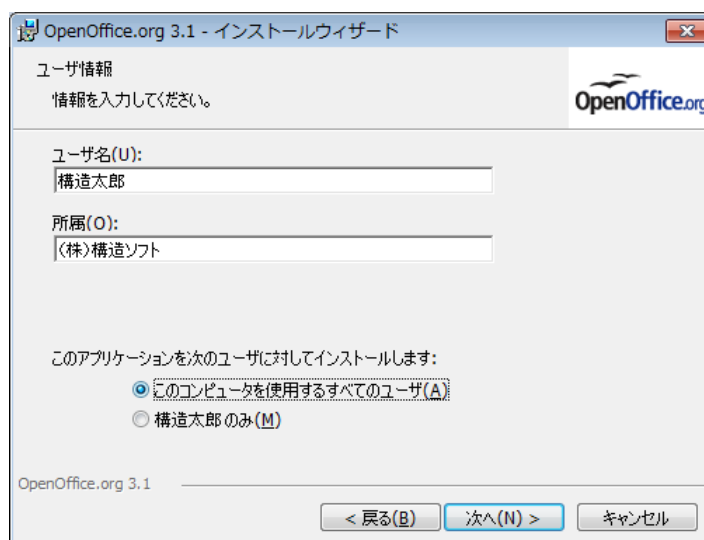


(3) 「オープンオフィス ドット オルグOpenOffice.org」の場合のセットアップ画面

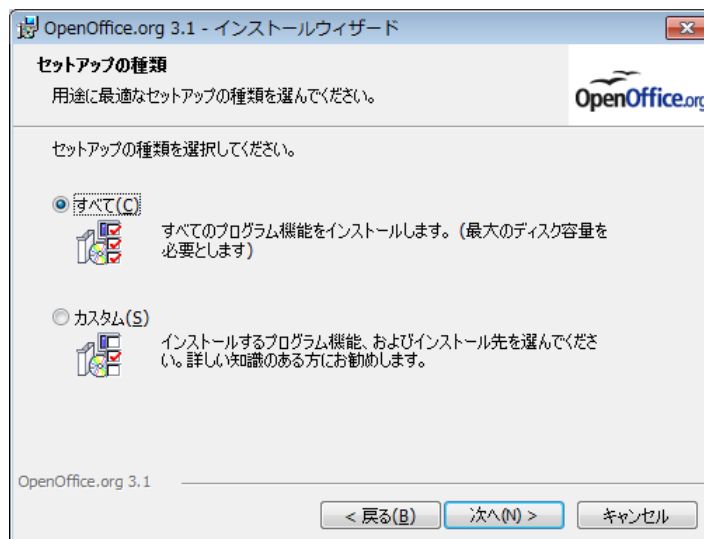
1) 以下の画面が表示されるので、[次へ(N) >]ボタンを押してください。



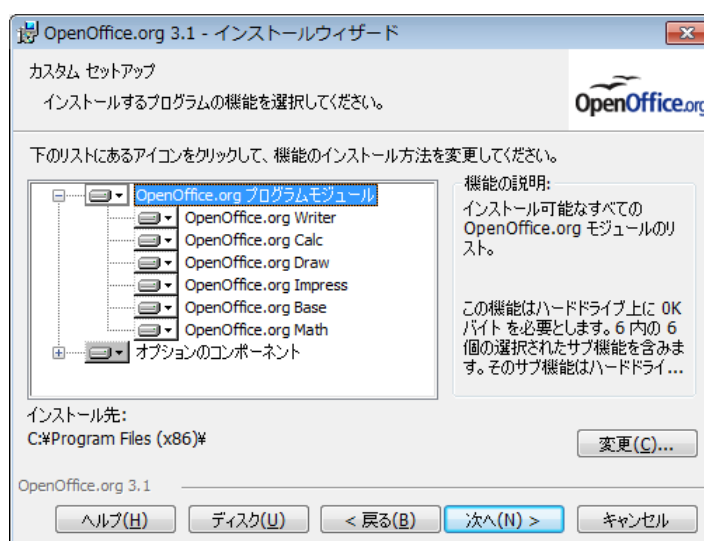
2) 以下の画面が表示され、Windows にセットされた情報から「ユーザ名(U)」と「所属(O)」が自動的に入力されます。変更の必要があれば変更してから[次へ(N) >]ボタンを押してください。



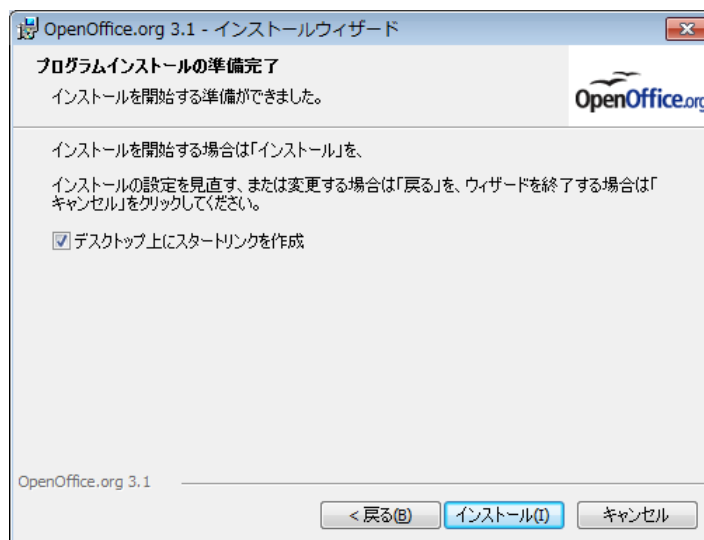
- 3) 以下の画面が表示されるので、セットアップの種類を選択して[次へ(N) >]ボタンを押してください。「すべて(C)」は、インストール先などを指定せずに自動ですべての機能のインストールを行います。「カスタム(S)」は、インストール先やインストールする機能などを指定してインストールを行いたい場合に選択します。



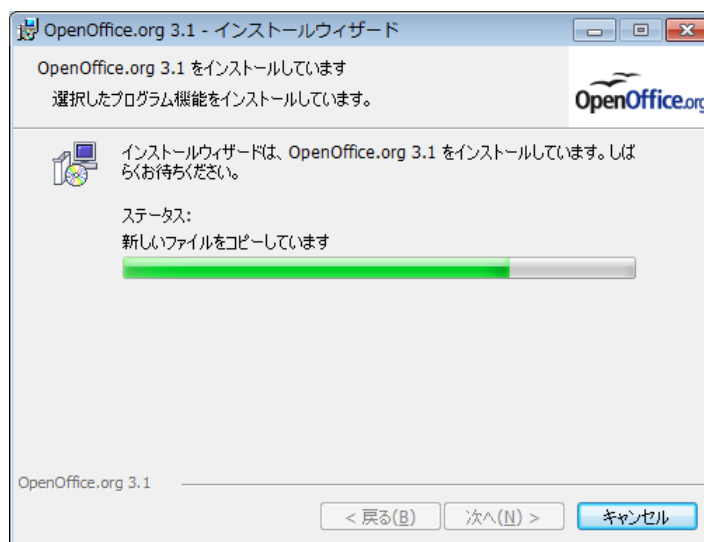
- 4) 「すべて(C)」を選択した場合は、後述の 6)へ進んでください。
- 5) もし、前述の 3)で「カスタム(S)」を選択した場合は、以下の画面が表示されるので、インストールする機能を選択することができます。ただし、「OpenOffice.org Writer」「OpenOffice.org Calc」は必ずインストールする必要があります。また、インストール先のフォルダに初期値として“C:\Program Files¥”が指定されているので、よろしければそのまま[次へ(N) >]ボタンを、変更するのであれば、[変更(C) ...]ボタンを押してインストール先を変更してから[次へ(N) >]ボタンを押してください。



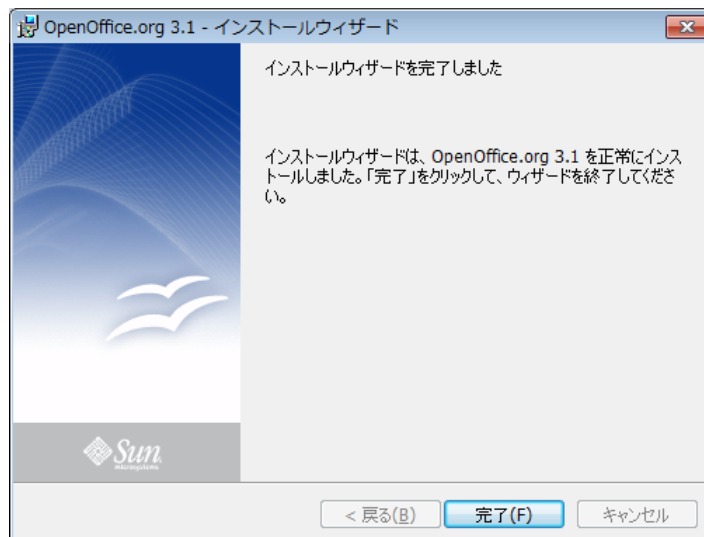
- 6) 以下の画面が表示されるので、デスクトップ上にショートカットメニューを作成するか否かを選択して、[インストール(I)]ボタンを押してください。



- 7) 以下の画面が表示され、インストールが行われます。そのまましばらくお待ちください。

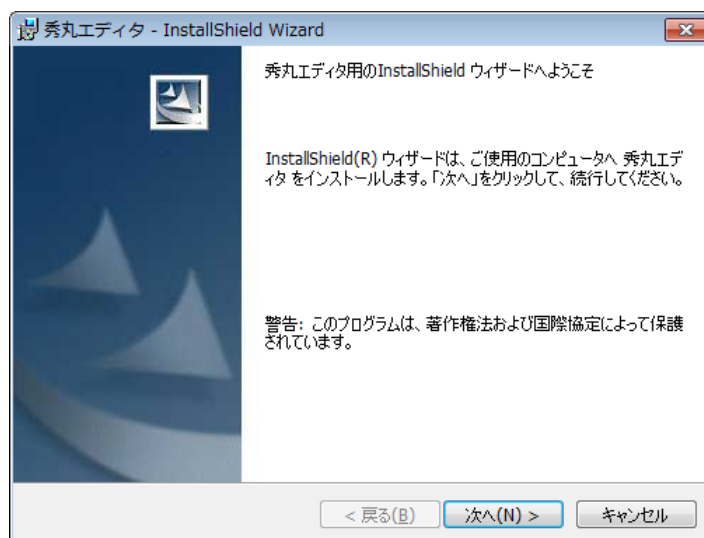


- 8) しばらくすると、以下の画面が表示されるので、[完了(F)]ボタンを押してください。セットアップはこれで終了ですが、引き続き、ユーザー登録の作業を行う必要があります。「1.5 「OpenOffice.org」のユーザー登録及び設定」を参照してください。

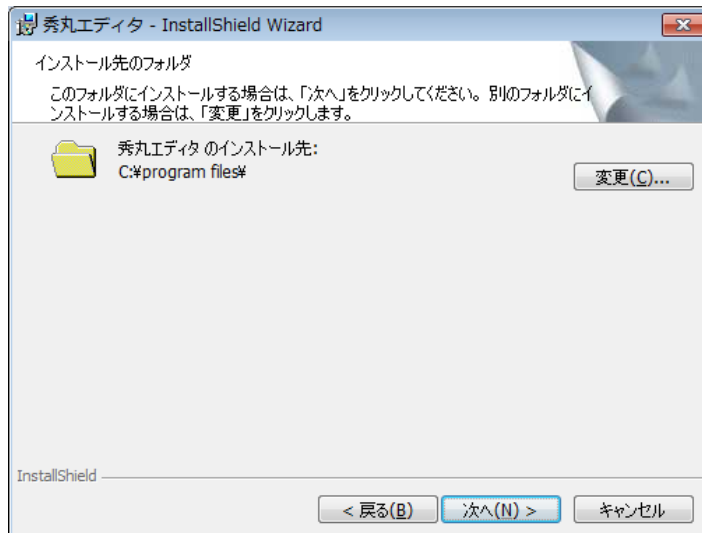


- (4) 「^{ひでまる}秀丸エディタ」の場合のセットアップ画面

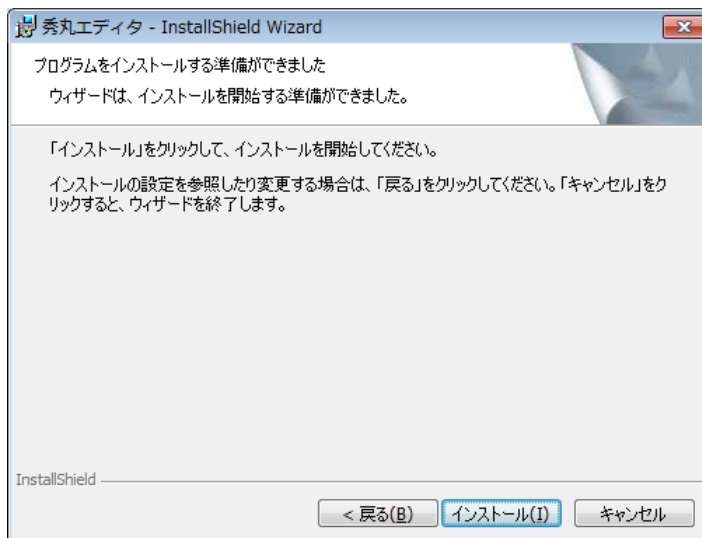
- 1) 以下の画面が表示されるので、[次へ(N) >]ボタンを押してください。



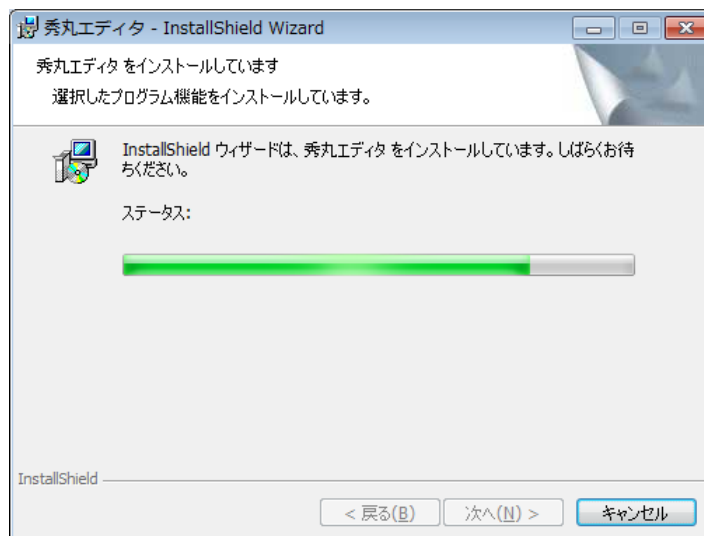
- 2) 以下の画面が表示され、インストール先のフォルダに初期値として“C:\Program Files”が指定されているので、よろしければそのまま[次へ(N) >]ボタンを、変更するのであれば、[変更(C)...]ボタンを押してインストール先を変更してから[次へ(N) >]ボタンを押してください。



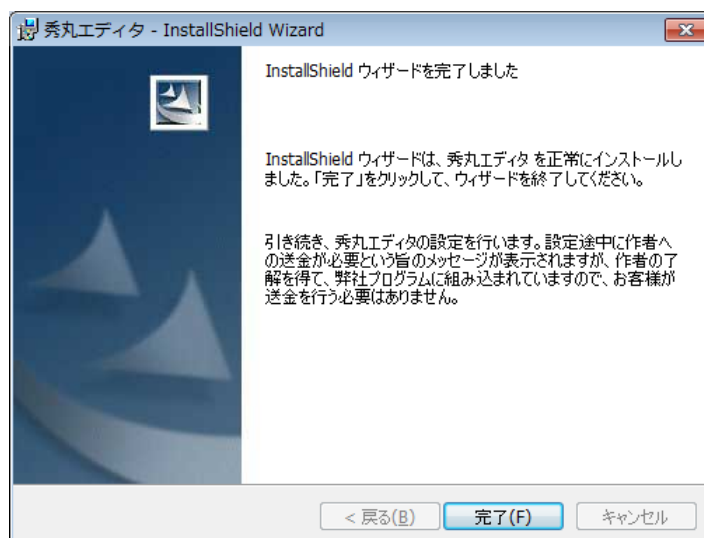
- 3) 以下の画面が表示されるので、[インストール(I)]ボタンを押してください。



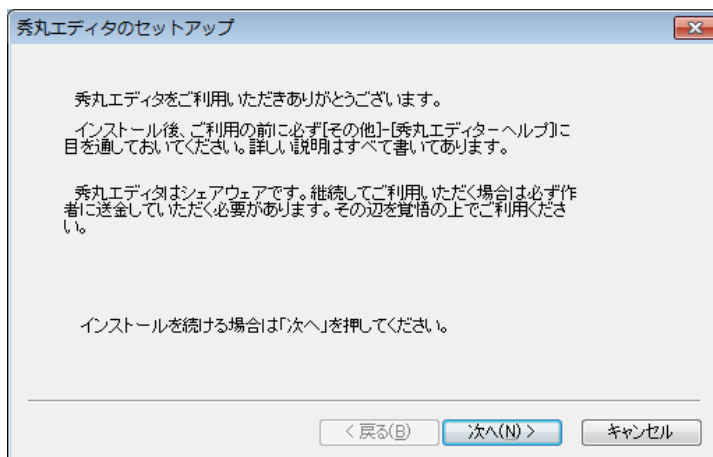
- 4) 以下の画面が表示され、インストールが行われます。そのまましばらくお待ちください。



- 5) 以下の画面が表示されるので、[完了(F)] ボタンを押してください。

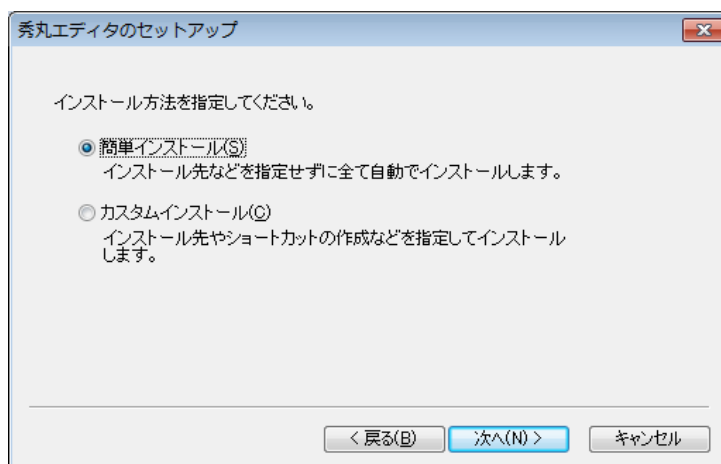


- 6) 続いて、「秀丸エディタ」の設定を行います。以下の画面が表示されるので、メッセージを読んで[次へ(N) >]ボタンを押してください。なお、「秀丸エディタはシェアウェアです。継続してご利用いただく場合は必ず作者に送金していただく必要があります。」と記載*されていますが、お客様が送金を行う必要はありません。

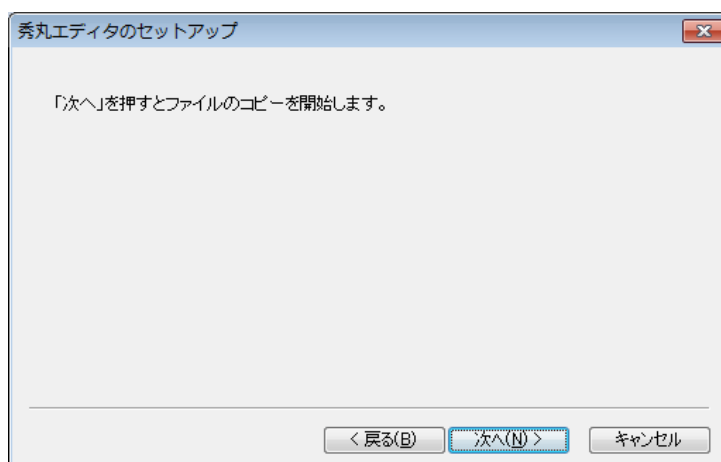


※ 作者は斉藤秀夫さんです。作者の了解を得て、弊社プログラムに組み込まれています。

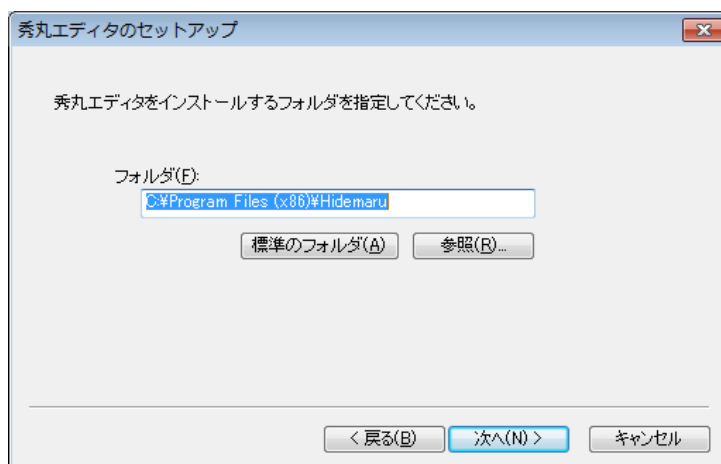
- 7) 以下の画面が表示されるので、インストールの方法を選択して[次へ(N) >]ボタンを押してください。「簡単インストール」は、インストール先などを指定せずに自動でインストールを行います。「カスタムインストール」は、インストール先やファイルの関連付け（「エクスプローラー」でファイルをダブルクリックした時に「秀丸エディタ」を起動するようにする）などを指定してインストールを行いたい場合に選択します。



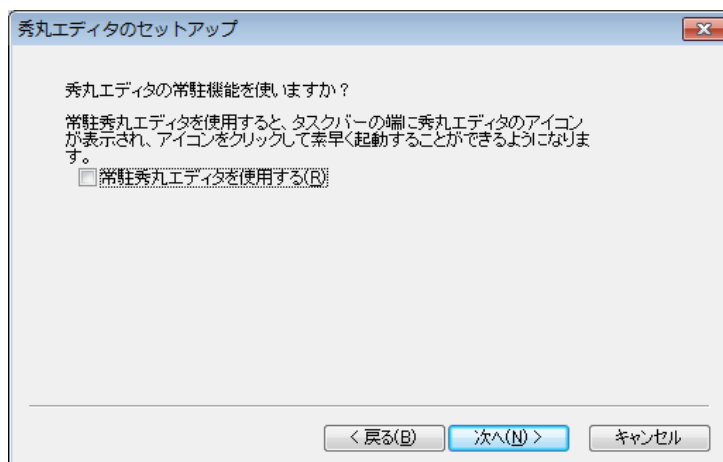
- 8) 「簡単インストール」を選択した場合は、以下の画面が表示されるので[次へ(N) >]ボタンを押して、後述の 19)へ進んでください。



- 9) もし、前述の 7)で「カスタムインストール」を選択した場合は、以下の画面が表示され、インストール先フォルダを変更できますが、そのまま[次へ(N) >]ボタンを押してください。前述の 2) で設定したフォルダにコピーされている為、ここでフォルダを指定した場合、弊社プログラムから使用できなくなります。

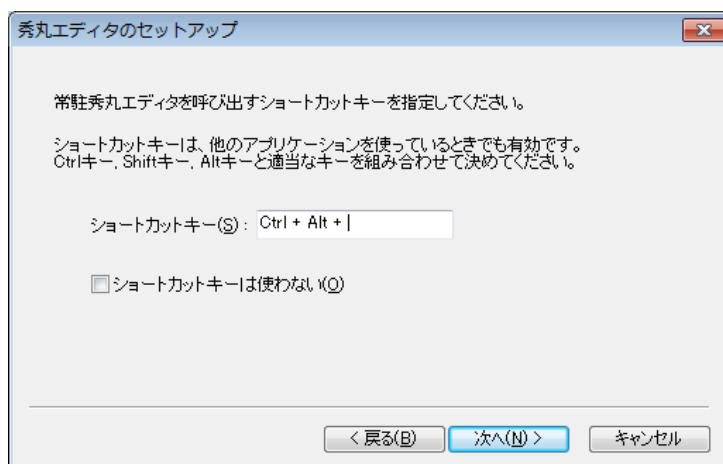


- 10) 以下の画面が表示されるので、「常駐秀丸を使用する(R)」*のチェックを外して[次へ(N) >] ボタンを押してください。



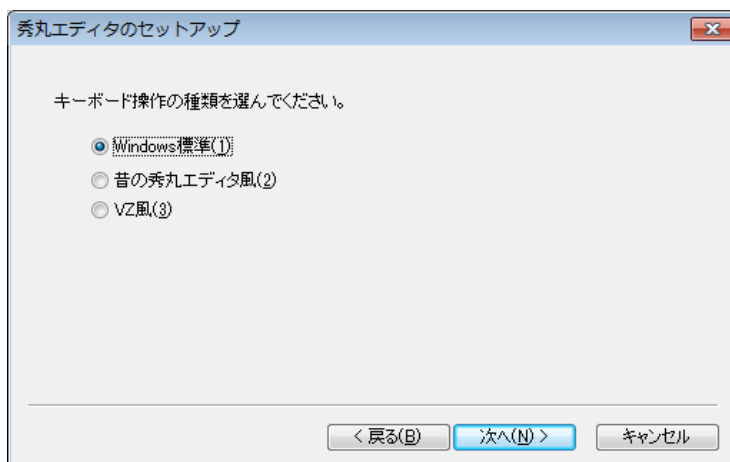
※ チェックを入れてインストールしてしまった場合は、インストール終了後に「秀丸エディタ」を起動し、[その他]メニューの[動作環境]を選択し、「常駐機能」で「秀丸エディタの常駐」のチェックを外してください。

- 11) 前画面で「常駐秀丸を使用する(R)」*にチェック (☑) を入れていた場合、以下の画面が表示されるので、常駐秀丸をショートカットキーで呼び出すかどうかを選択します。ショートカットに使用するキー (初期設定は[Ctrl]+[Alt]+[I]) を入力するか、「ショートカットキーは使わない(O)」にチェック (☑) を入れて[次へ(N) >] ボタンを押してください。

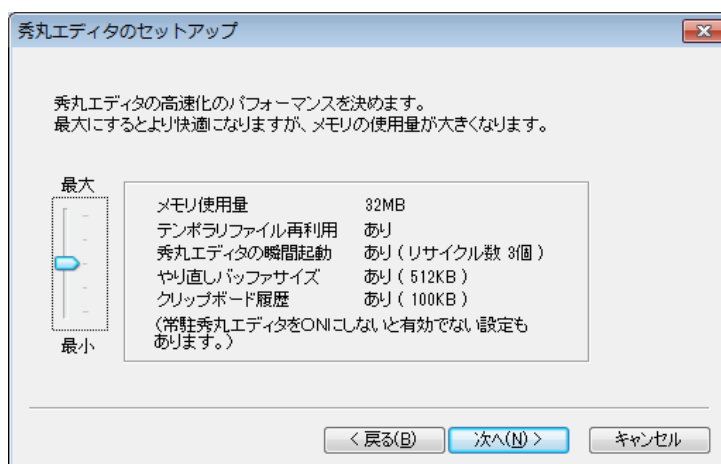


※ 常駐秀丸を使用すると、弊社製品使用時にエラーが発生しますので、[< 戻る(B)] ボタンを押すか、インストール終了後に「秀丸エディタ」を起動し、[その他]メニューの[動作環境]を選択し、「常駐機能」で「秀丸エディタの常駐」のチェックを外してください。

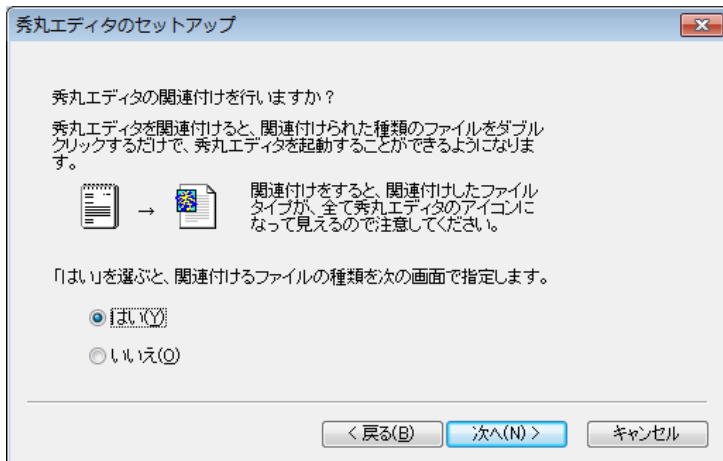
- 12) 以下の画面が表示されるので、キーボード操作の種類を選択します。通常は、そのまま[次へ(N) >]ボタンを押してください。



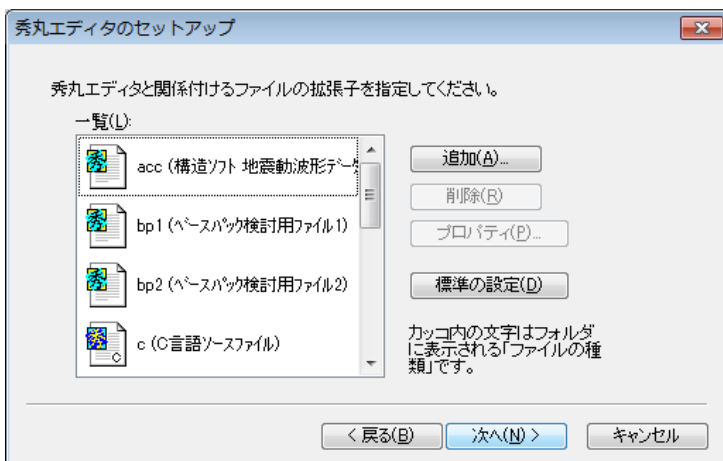
- 13) 以下の画面が表示されるので、高速化パフォーマンスの為の動作環境を変更します。通常は、そのまま[次へ(N) >]ボタンを押してください。



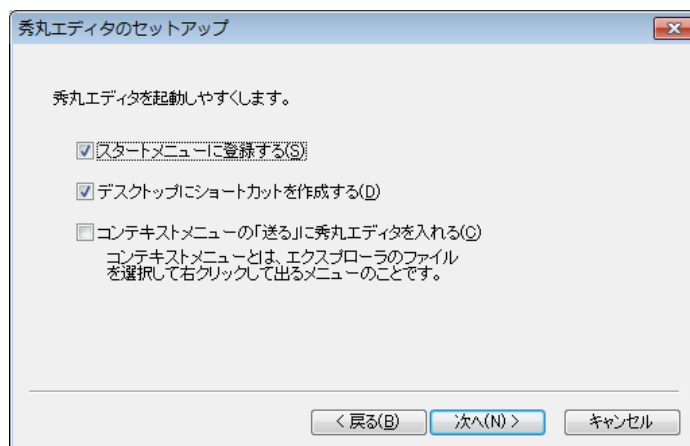
- 14) 以下の画面が表示されるので、関連付けを行うか否かを選択します。通常は、そのまま[次へ(N) >]ボタンを押してください。関連付けを行うと関連付けられた拡張子のファイルは「エクスプローラー」等でダブルクリックするだけで起動するようになります。



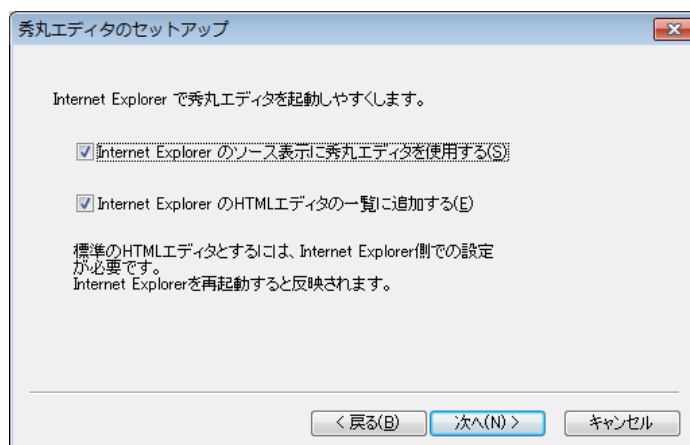
- 15) 前画面で「はい(Y)」を選択すると、以下の画面が表示されるので、通常は、そのまま[次へ(N) >]ボタンを押してください



- 16) 以下の画面が表示されるので、起動に関する設定を選択します。通常は、そのまま[次へ(N) >] ボタンを押してください。



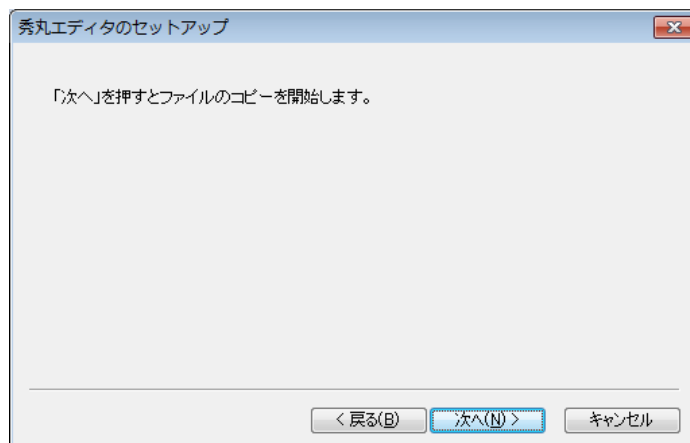
- 17) 以下の画面が表示されるので、「インターネットエクスプローラ」との連動に関する設定を選択します。通常は、そのまま[次へ(N) >] ボタンを押してください。



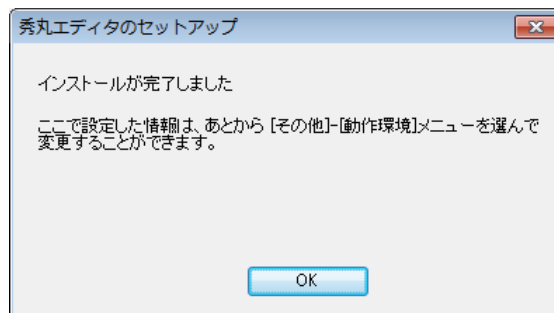
- 18) 以下の画面が表示されるので、上書きする設定ファイルを選択します。通常は、そのまま[次へ(N) >] ボタンを押してください。



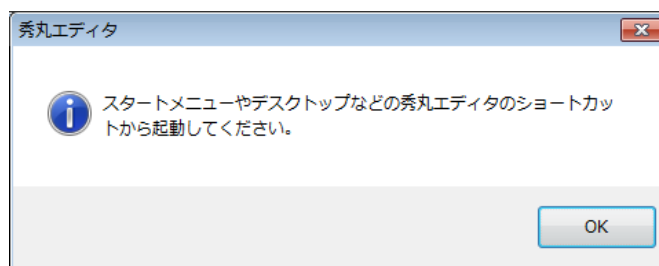
19) 以下の画面が表示されるので、[次へ(N) >]ボタンを押します。



20) 以下の画面が表示されるので、[OK]ボタンを押してください。



21) 以下の画面が表示されるので、[OK]ボタンを押してください。セットアップはこれで終了です。



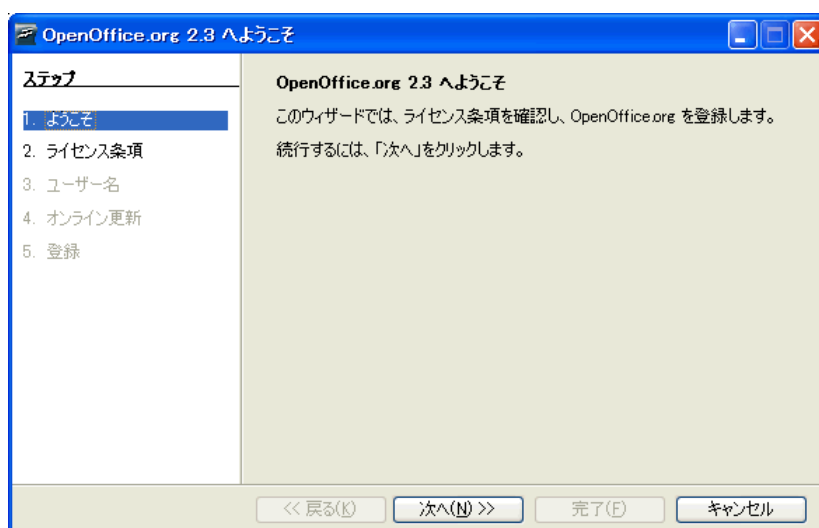
1.5 「OpenOffice.org」の設定

「BUILD. 一貫V」「BUILD. 壁式V」の概要書とチェックリスト、「BUILD. 耐診断壁式」の予備調査表と簡易耐震診断表を作成する為には、予め「OpenOffice.org^{オープンオフィス ドット オルグ}^{※1}」のユーザー登録及び設定を行っておく必要があります。

「BUILD. 一貫VI」では「OpenOffice.org」は使用しません。概要書とチェックリストの作成を行う場合は、「Microsoft Word2013」「Microsoft Excel2013」以上の「Microsoft Office」製品が必要となります。

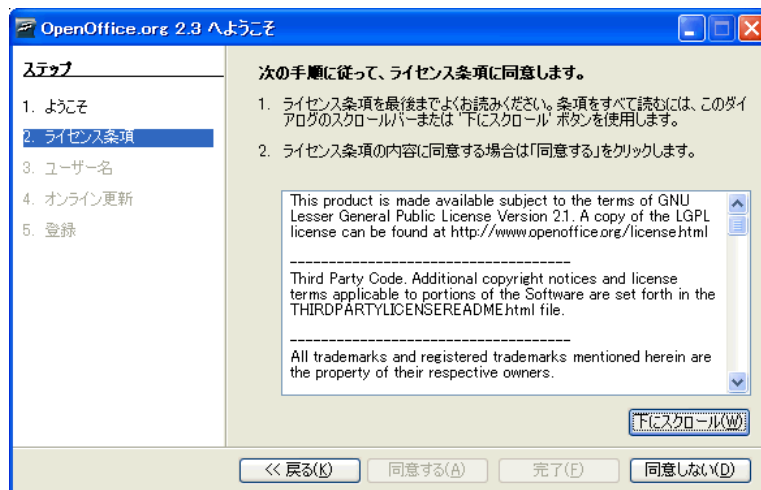
※1 「OpenOffice.org」は Sun Microsystems 社が公開したオープンソース技術を使用したフリーソフトです。

- 1) [スタート]-[すべてのプログラム]-[OpenOffice.org X.X^{※2}]-[OpenOffice.org Writer]または[OpenOffice.org Calc]を選択して起動します。初めて起動する場合、ユーザー登録の為に以下のウィザードの画面が表示されるので、[次へ(N) >>]ボタンを押してください。

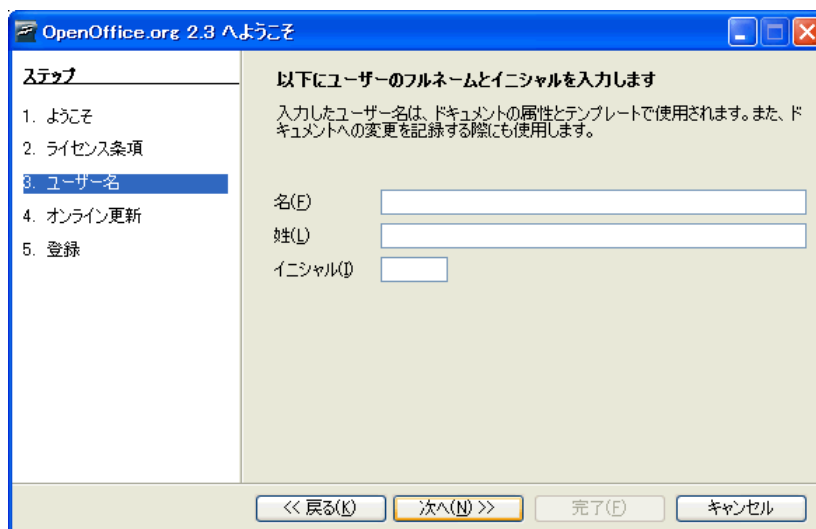


※2 「X.X」の部分は、使用しているバージョンにより異なります。2022年8月現在、3.4.1まで対応しています。なお、弊社以外のサイトからダウンロードできる3.4.1以上のバージョンには対応していません。

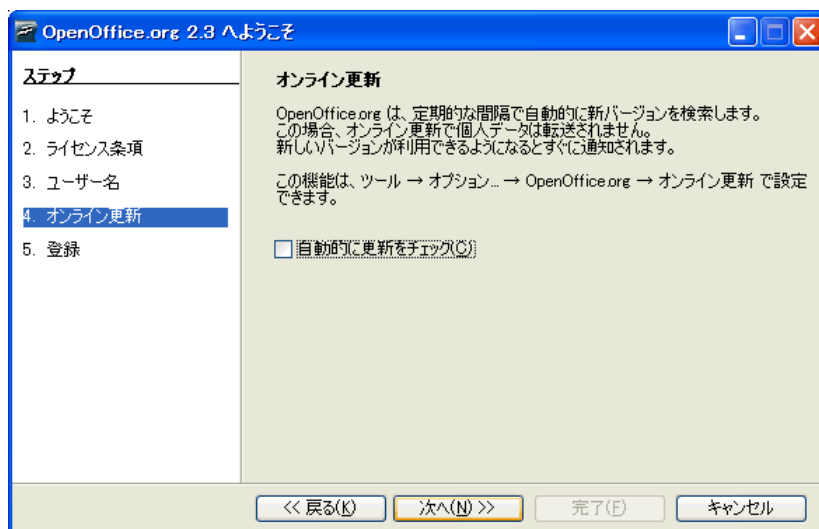
- 2) 以下の画面が表示されるので、[下にスクロール(W)]ボタンを押すかスクロールバーをドラッグして一番下まで移動します。ライセンス条項をお読み頂き、その内容にご同意を頂ける場合は「同意する(A)」ボタンを押してください。



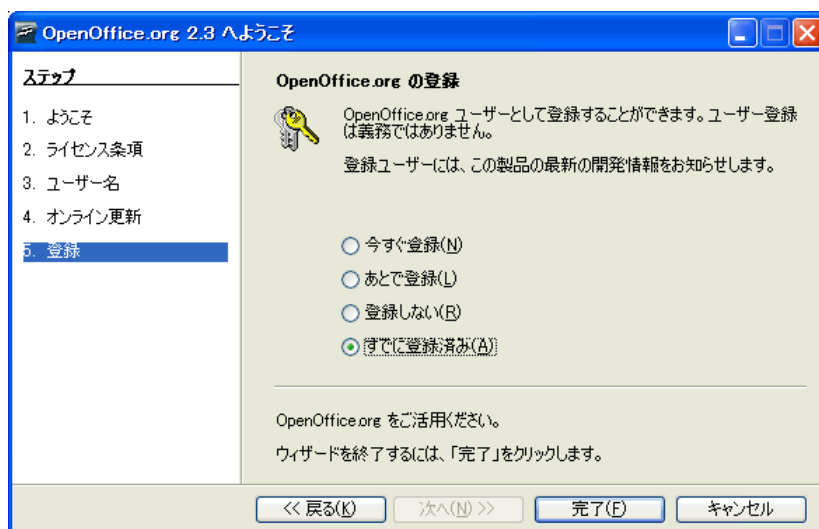
- 3) 以下の画面が表示されるので、「名(F)」「姓(L)」「イニシャル(L)」を入力し、「次へ(N) >>」ボタンを押してください。



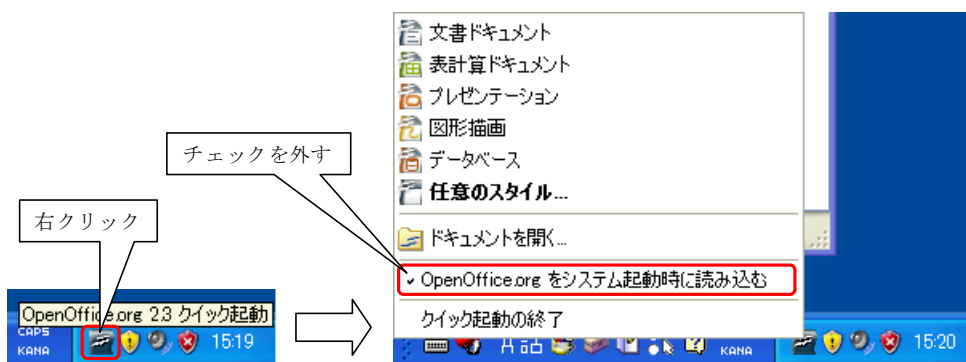
- 4) 以下の画面が表示されるので、「自動的に更新をチェック(C)」のチェックボックスを OFF にして、[次へ(N) >>] ボタンを押してください。



- 5) 以下の画面が表示されるので、「すでに登録済み(A)」を選択して、[完了(F)] ボタンを押してください。これでユーザー登録は完了です。



- 6) ユーザー登録を終了すると、Windows の画面右下のタスクトレイに「クイック起動」が常駐されます。「クイック起動」が常駐していると、チェックリストや概要書の作成時間が遅くなってしまうことがある為、「クイック起動」の常駐を解除してください。解除方法は、「クイック起動」アイコンを右クリックしてメニューを表示させ、「OpenOffice.org をシステム起動時に読み込む」のチェックを外します（クリックすると解除されます）。



- 7) もう一度「クイック起動」アイコンを右クリックしてメニューを表示させ、「クイック起動の終了」をクリックします。これで「OpenOffice.org」に関する設定はすべて完了です。

1.6 アンインストール (プログラムをハードディスクから削除する)

インストールしたプログラムをハードディスクから削除したい場合には、下記操作を行ってください。

- 1) [スタート (Windows のマーク)]-[設定]を選択し、以下の画面で「アプリ」を選択します。

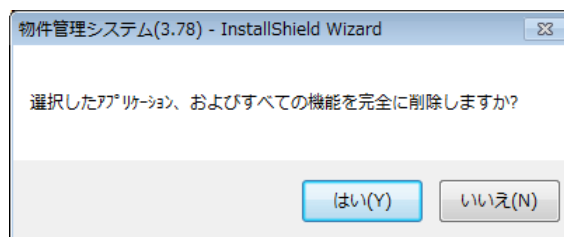


- 2) 画面左側から「アプリと機能」を選択してください。「アプリと機能」ではインストールされているソフトウェアが一覧で表示されます。画面をスクロールして削除したい製品名を選択すると、[アンインストール]ボタンが表示されます。

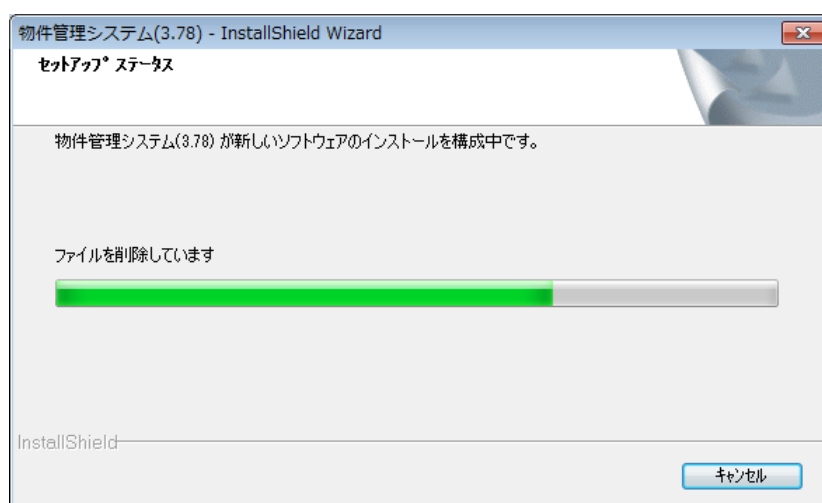


1.6 アンインストール(プログラムをハードディスクから削除する)

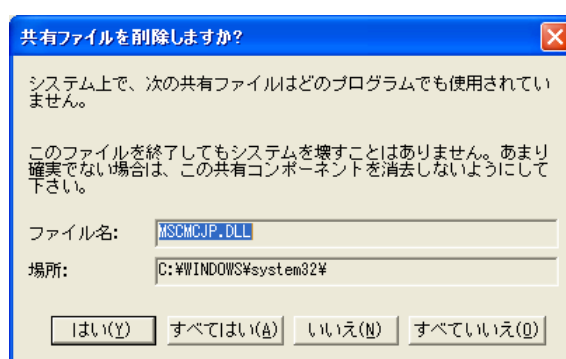
- 3) [アンインストール]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。



- 4) [はい(Y)]ボタンを押すとアンインストールを開始します。そのまましばらくお待ちください。



- 5) もし、共有ファイルの削除の確認が必要な場合、以下のような画面が表示されるので[はい(Y)][いいえ(N)]ボタンから選択します。分からない場合は、[いいえ(N)]ボタンを押してください。

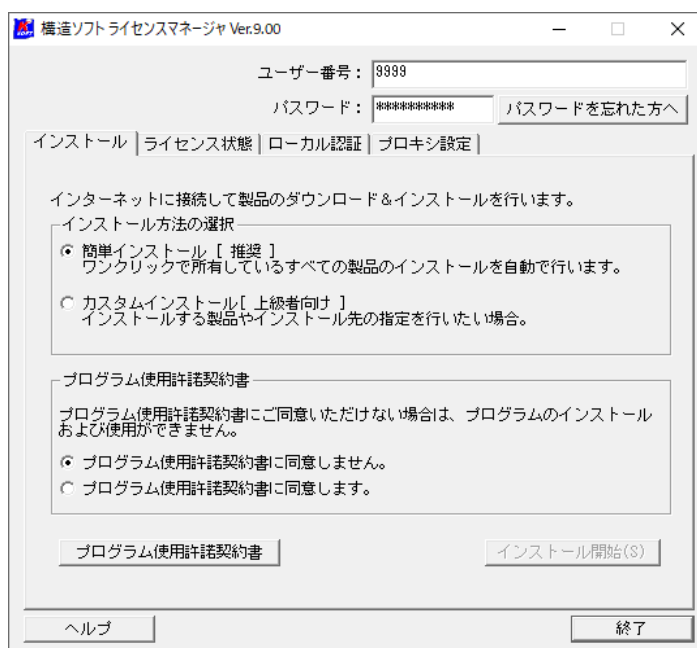


- 6) これでアンインストール(削除)は完了です。なお、お客様が作成した入力データは削除されません。

1.7 「構造ソフト ライセンスマネージャ」の機能

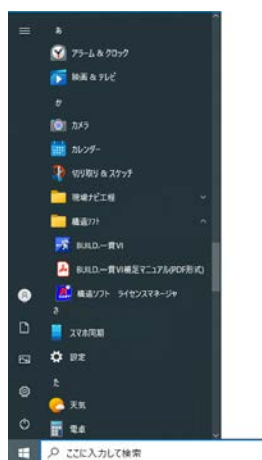
1.7.1 機能概要

「構造ソフト ライセンスマネージャ」は、インターネットを用いてライセンス認証を行う為のプログラムで、ユーザー番号およびパスワードの入力、ご購入製品のダウンロード&インストール、ライセンス状態の確認、ローカルライセンスの取得と返却、プロキシサーバーの設定等を行います。



1.7.2 起動方法

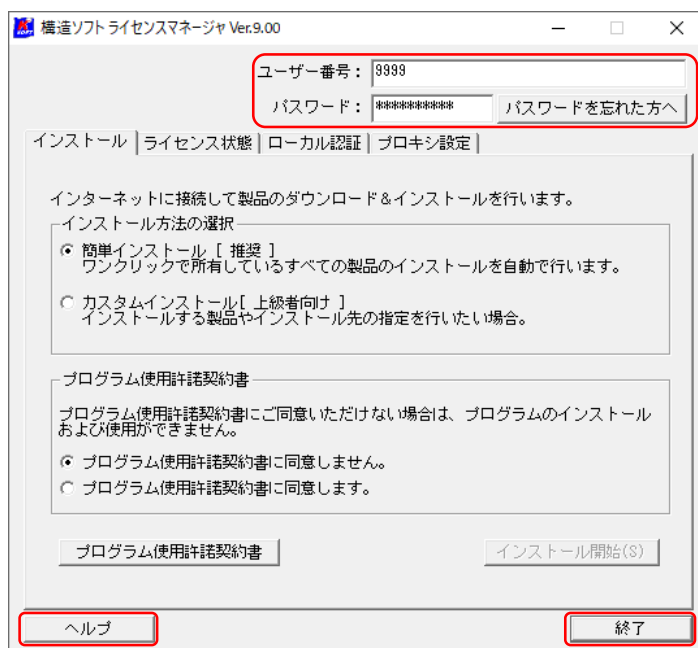
- 1) [スタート (Windows のマーク)] をクリックし、[構造ソフト] フォルダ内の [構造ソフト ライセンスマネージャ] アイコンをクリックします。



※ 「構造ソフト ライセンスマネージャ」の起動は、管理者 (Administrator) のユーザーアカウントに限定されています。1 台の PC を複数人で使用し、かつユーザーアカウントごとに権限 (例: A さんは管理者、B さんは標準ユーザー) を割り当てて運用している場合、管理者 (Administrator) 以外のユーザーアカウントでは起動することはできません。

1.7.3 共通機能

画面上部と下部にある項目は、どの機能を使用する場合でも表示される共通機能です。



(1) ユーザー番号とパスワード

インターネット認証ライセンスに必要な情報を入力します。弊社よりメールでお送りしましたユーザー番号とパスワードを入力します。

(2) [パスワードを忘れた方へ]ボタン

パスワードを忘れた場合の対処方法を表示します。

(3) [ヘルプ]ボタン

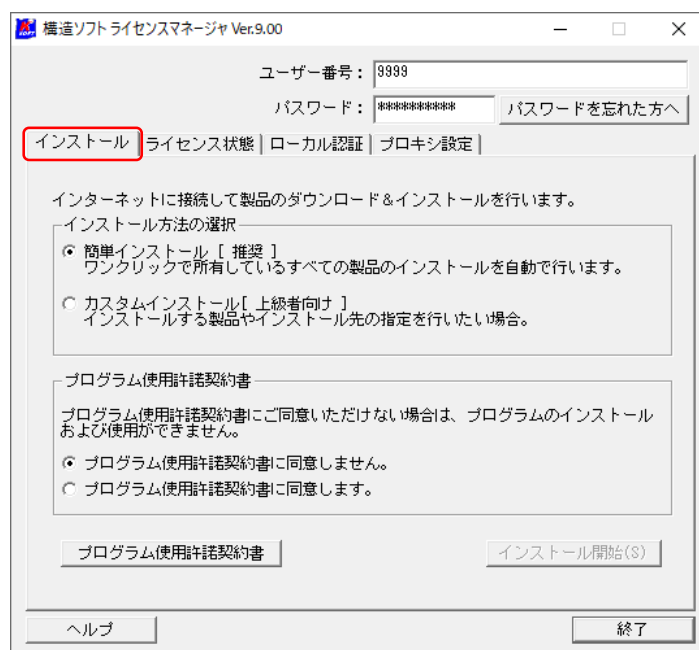
ヘルプをPDFファイルで表示します。万が一、ライセンス情報の取得でうまくいかない場合のセキュリティソフトの対応方法等も記述してあります。

(4) [終了]ボタン

「ユーザー番号」「パスワード」および[プロキシ設定]タブで入力した内容を保存して「構造ソフト ライセンスマネージャ」を終了します。ただし、[インストール]タブを表示している状態で、ご購入製品のダウンロード&インストールを1製品も行っていない場合は、このボタンを押すことはできません。

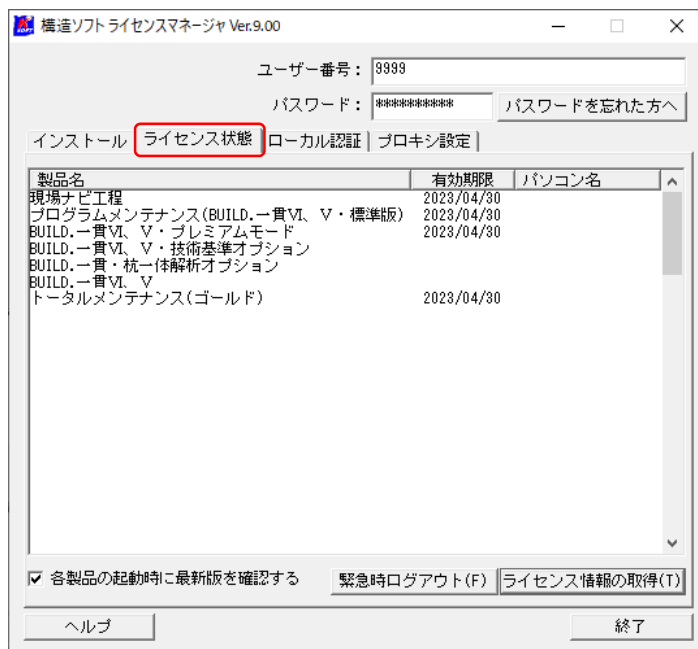
1.7.4 インストール

[インストール]タブでは、ご購入製品のダウンロード&インストールを行います。なお、この機能を使うにはインターネットに接続できる環境である必要があります。詳細は「1.4 ご購入製品のダウンロード&インストール」を参照してください。



1.7.5 ライセンス状態

[ライセンス状態]タブでは、ライセンスの使用状況の確認を行うことができます。なお、この機能を使うにはインターネットに接続できる環境である必要があります。



(1) ライセンスの使用状況の確認

所有しているライセンスとその使用状況を表示します。

- 1) [ライセンス状態]タブを選択し、[ライセンス情報の取得(T)]ボタンを押すことにより、購入製品のすべてのライセンス状態が表示されます (情報の取得には時間が掛かる場合があります)。
- 2) 有効期限があるものは、製品名の右にその日付が表示されます。
- 3) 有効期限の右には、現在そのライセンスを使用している方のパソコン名が表示されます。パソコン名が青の場合は、ローカルライセンスを取得していることを表しています。ローカルライセンスの詳細は「1.7.6 ローカル認証」を参照してください。

(2) ライセンスの緊急時ログアウト

お客様使用しているライセンスをログアウト（開放）します。通常、ログアウトは製品終了時に自動で行われますが、通信障害等の何らかの理由により、製品終了時に自動ログアウトができなかったような緊急時の為の機能です。多用すると不正利用防止の観点からロックがかかりますので、緊急時以外は使用しないでください。

構造計算プログラムをご使用でトータルメンテナンスを契約されていないお客様と、「現場ナビ」シリーズをご使用の場合は、この機能を使用することはできません。

- 1) [ライセンス状態]タブを選択し、[ライセンス情報の取得 (I)]ボタンを押すことにより、購入製品の全てのライセンス状態が表示されます（情報の取得には時間が掛かる場合があります）。
- 2) ログアウトを行う製品名を選択し、[緊急時ログアウト (F)]ボタンを押します。

(3) 各製品の起動時に最新版プログラムの有無の確認

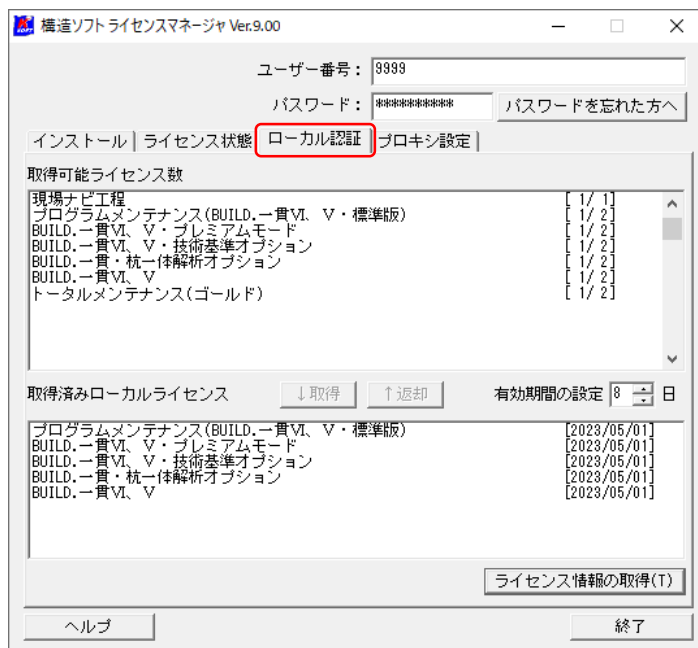
使用する各製品の起動時に最新版プログラムがダウンロードページに用意されているかを確認することができます。

- 1) 「各製品の起動時に最新版を確認する」のチェック (☑)を入れた場合、各製品の起動時に最新版プログラムがダウンロードページに用意されているかを確認します。
- 2) 「各製品の起動時に最新版を確認する」のチェックを外した場合、起動時の確認を省略します。

1.7.6 ローカル認証

[ローカル認証]タブでは、ローカルライセンスの取得と返却を行うことができます。ローカルライセンスとは、通常インターネットを通じて行っているライセンスの認証を、インターネットに繋がらない状態でも一定期間ライセンスの認証が出来るようにする機能です（「1.1.1 (1) 3」参照）。なお、取得と返却を行う場合にはインターネットに接続できる環境である必要があります。

構造計算プログラムをご使用でトータルメンテナンスを契約されていないお客様は、この機能を使用することはできません。



(1) ローカルライセンスの取得方法

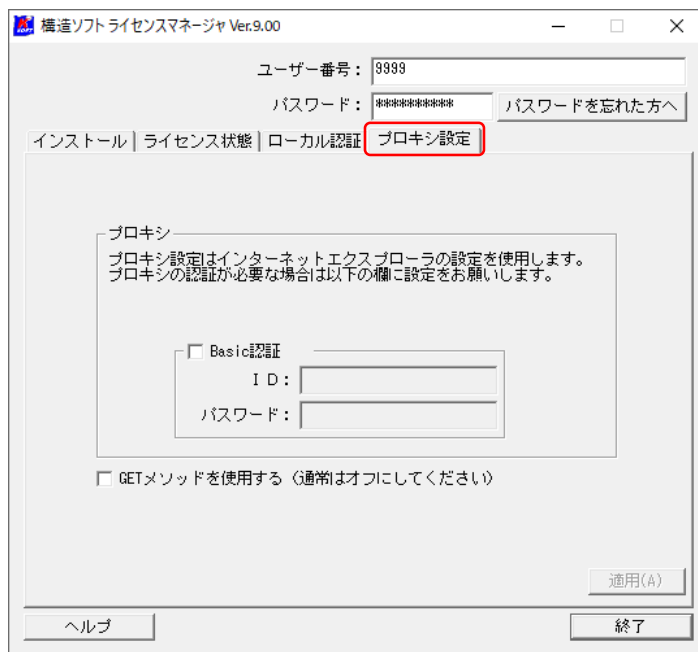
- 1) [ローカル認証]タブを選択し、[ライセンス情報の取得(T)]ボタンを押すことにより、購入製品のすべてのライセンス数とローカル取得可能ライセンス数が確認します（情報の取得には時間が掛かる場合があります）。
- 2) 「取得可能ライセンス数」リストの製品名の後ろに表示されている[]内には、[ローカル取得可能ライセンス数/購入ライセンス数]として表示されます。
- 3) 「取得可能ライセンス数」リストからローカル取得を行う製品名をクリックして選択状態になると、[↓取得]ボタンが押せるようになり、[↓取得]ボタンを押すとローカルに取得して期限が表示されます。「有効期間の設定」の数値を変えて取得することにより、当日(1)から7日間(8)まで有効期間を変更することも可能です。
- 4) 「取得済みローカルライセンス」リストの製品名の後ろに表示されている[]内には、インターネットに繋がらない状態で使用できる期限の年月日が表示されます。

(2) ローカルライセンスの返却方法

- 1) [ローカル認証]タブを選択し、[ライセンス情報の取得(I)]ボタンを押すことにより、購入製品のすべてのライセンス数とローカル取得可能ライセンス数が確認します（情報の取得には時間が掛かる場合があります）。
- 2) 「取得済みローカルライセンス」リストから返却する製品名をクリックして選択状態にすると、[↑返却]ボタンが押せるようになり、[↑返却]ボタンを押すと返却が行われます。選択と選択解除は、マウスでクリックする他に、キーボードの[↑][↓]キーで移動して[スペース]キーでも行うことができます。

1.7.7 プロキシ設定

[プロキシ設定]タブでは、お客様のネットワーク環境において、弊社製品を使用する PC から直接インターネットに接続せず、プロキシサーバーを通じてアクセスしている場合の設定を行います。設定を行わない場合は、ご使用の PC のシステム設定からプロキシ情報を自動的に取得して使用します。



(1) Basic 認証

お客様のネットワーク環境でプロキシサーバーをご利用する際に、プロキシサーバーに対しての認証 (Basic 認証) が必要となる場合、チェック (☑) を入れ、ID とパスワードを入力します。貴社のネットワーク管理者にお尋ねください。

(2) GET メソッドを使用する

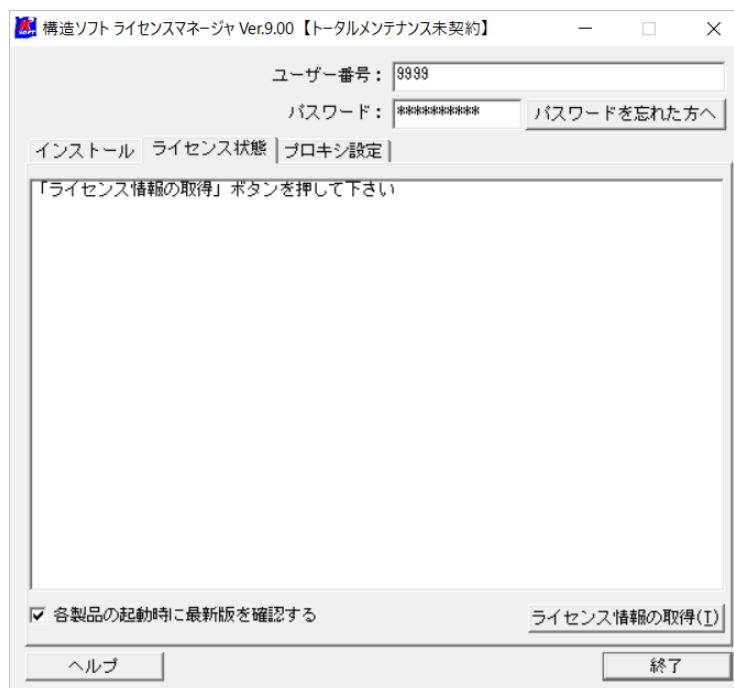
プロキシなどにより、HTTP の POST メソッドが禁止されている場合に、GET メソッドを使用してインターネット認証を行う場合にチェック (☑) を入れます。

(3) [適用 (A)] ボタン

「Basic 認証」「GET メソッドを使用する」の入力を行った場合に使用します。

1.7.8 トータルメンテナンスを契約されていない場合

構造計算プログラムをご使用でトータルメンテナンスを契約されていないお客様の場合、以下のような画面の表示となります。



(1) タイトルバー

トータルメンテナンスを契約されていないお客様の場合、画面最上部のタイトルバーの右側に【トータルメンテナンス未契約】と表示されます。

(2) タブ

トータルメンテナンスを契約されていないお客様の場合、画面内のタブが[インストール][ライセンス状態][プロキシ設定]の3つとなり、[ローカル認証]タブ（「1.1.6」参照）が表示されません。

(3) [緊急時ログアウト(F)]ボタン

トータルメンテナンスを契約されていないお客様の場合、[ライセンス状態]タブ（「1.1.5」参照）で[緊急時ログアウト(F)]ボタンが表示されません。

(4) トータルメンテナンスに契約いただいた場合

トータルメンテナンスに契約いただいた場合、インターネットに接続されている状態で[ライセンス状態]タブの[ライセンス情報の確認(I)]ボタンを押してください。画面最上部のタイトルバーの右側の【トータルメンテナンス未契約】が消え、前述の(2)(3)の機能が使用できるようになります。

1.7.9 認証エラーが発生する場合の設定変更

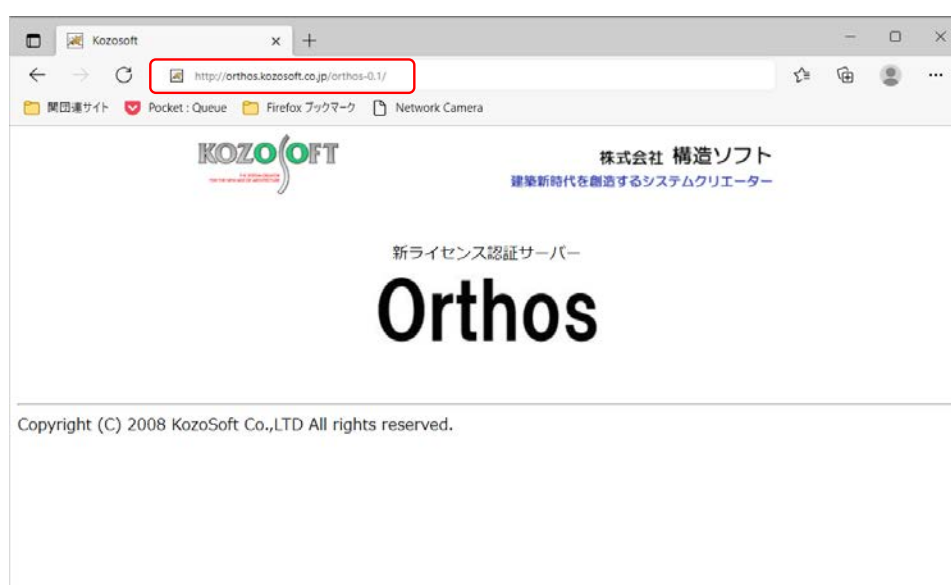
ライセンス認証時にエラーが発生する場合、お客様の通信環境が原因となっている可能性があります。以下の方法で設定の確認と変更を行ってください。

(1) ブラウザの確認

お使いの PC がインターネットに接続できているか確認します。

1) ブラウザを起動し、アドレスに下記を入力します。

<http://orthos.kozosoft.co.jp/orthos-0.1/>



- 2) 上記の画面が表示された場合、お使いの PC のインターネット通信環境は正常に動作しています。もし、表示されない場合は、インターネットの通信環境を点検（モデム・ルーター・ハブの接続や設定、プロバイダの設定等）してください。また、プロキシサーバーをご使用の場合、次ページの手順に従ってプロキシの設定を確認してください。

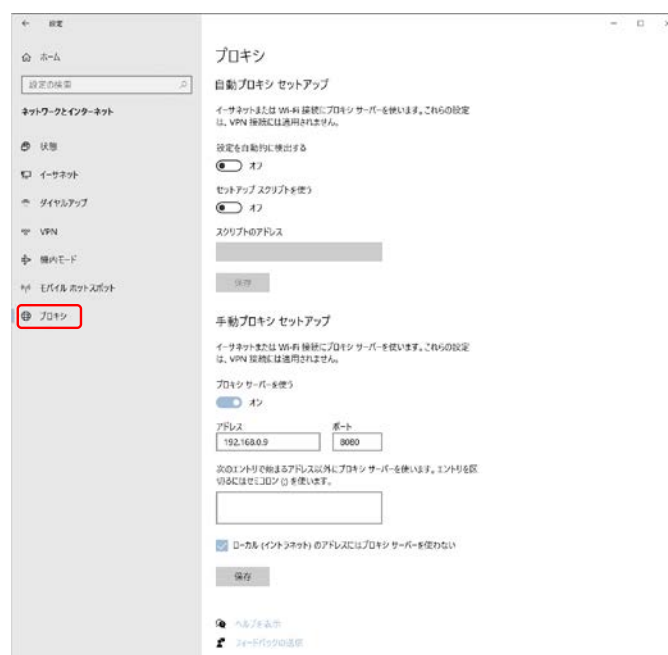
(2) プロキシの設定確認方法

プロキシサーバーをご使用の場合、以下の操作で設定を確認してください。よく分からない場合は、お客様のネットワーク管理者にお尋ねください。

- 1) [スタート (Windows のマーク)]-[設定]を選択し、以下の画面で「ネットワークとインターネット」を選択します。



- 2) 以下の画面の左側から「プロキシ」を選択します。

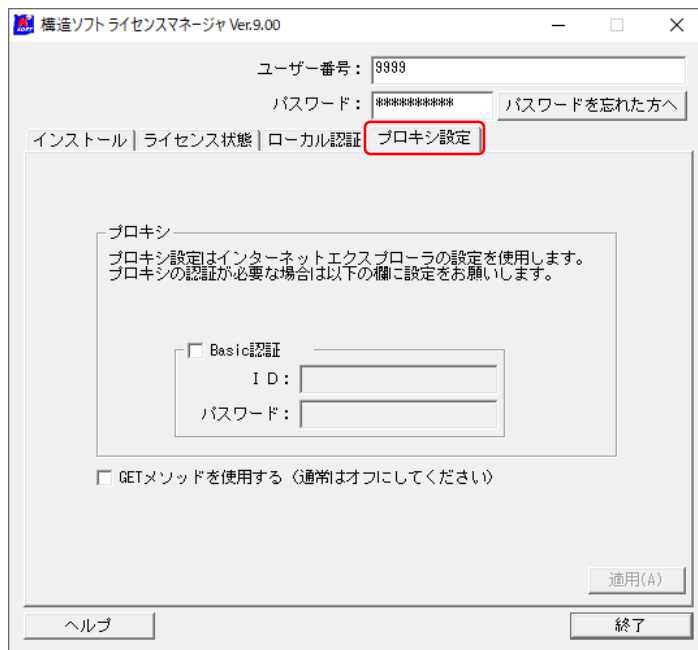


- 3) プロキシサーバーの設定を確認します。また、必要に応じて、引き続き次ページ以降の設定を行ってください。

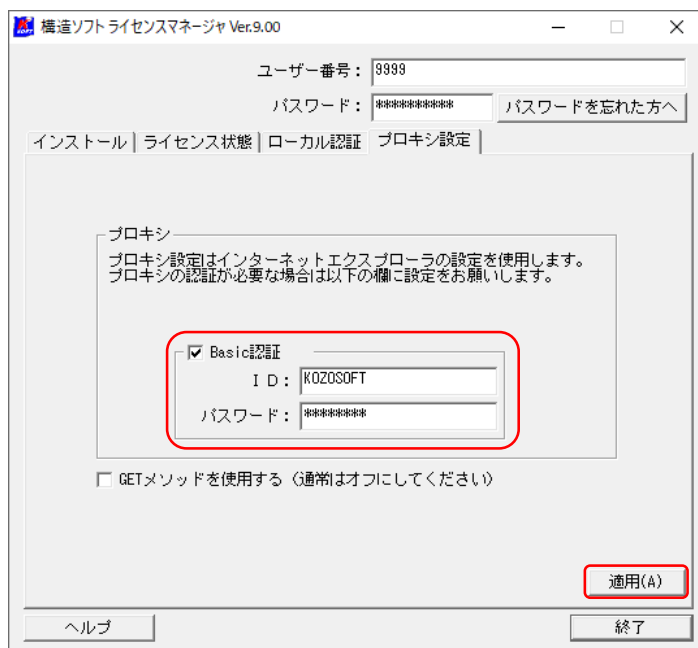
(3) プロキシサーバーの接続に認証が必要な場合の操作方法

プロキシサーバーをご使用で、プロキシサーバーの接続に認証が必要な環境の場合、以下の操作で設定を行ってください。

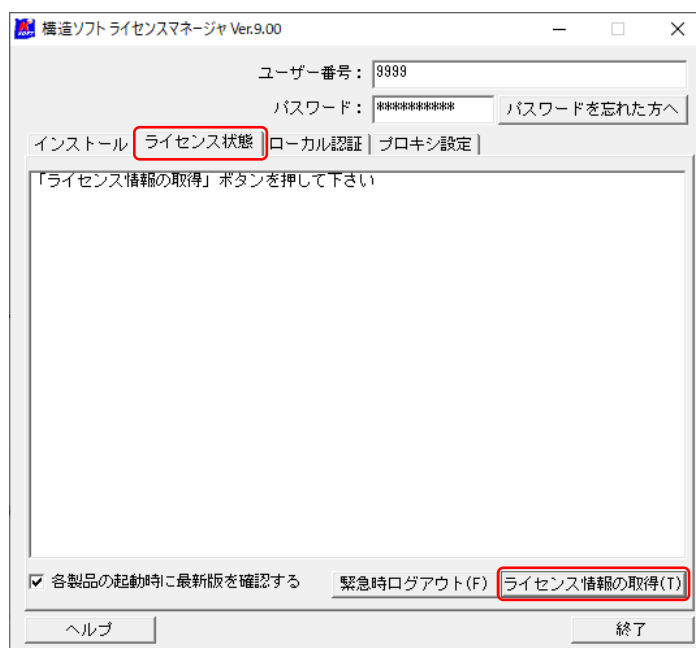
- 1) 「構造ソフト ライセンスマネージャ」の[プロキシ設定]タブを選択します。



- 2) 「Basic 認証」にチェック (☑) を入れて、IDとパスワードを入力し、[適用(A)]ボタンを押します。



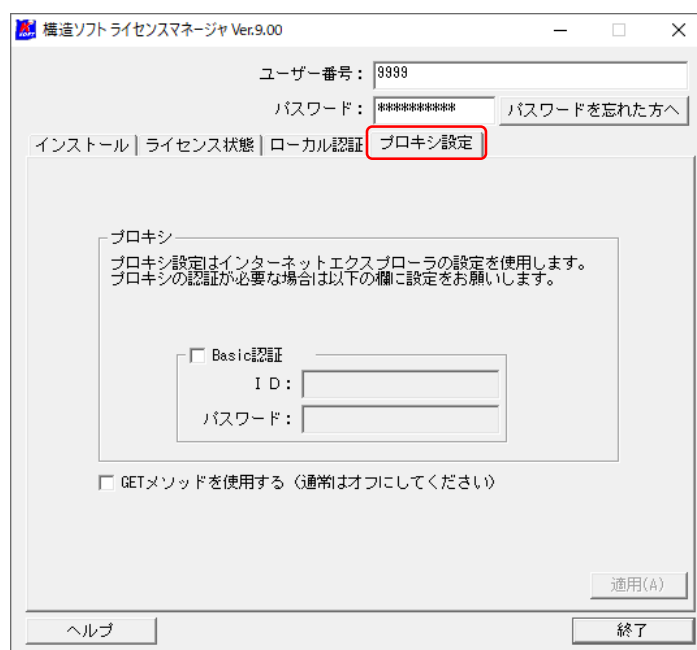
- 3) [ライセンス状態]タブを選択し、[ライセンス情報の取得(I)]ボタンを押して、ライセンスの取得ができるか確認します。所有している製品名が表示されれば設定は完了です。



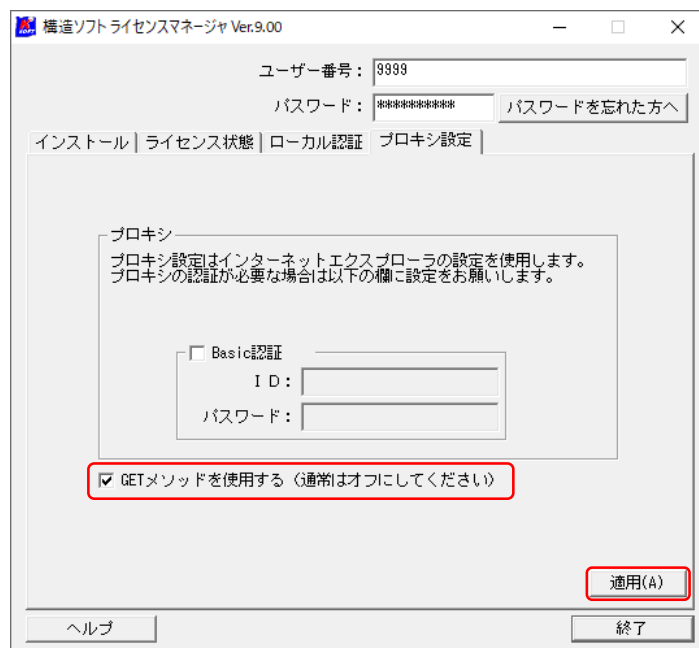
- (4) GET メソッドへの切替操作方法

プロキシサーバーをご使用で、HTTP の POST メソッドが禁止されている環境の場合、以下の操作で設定を変更してください。

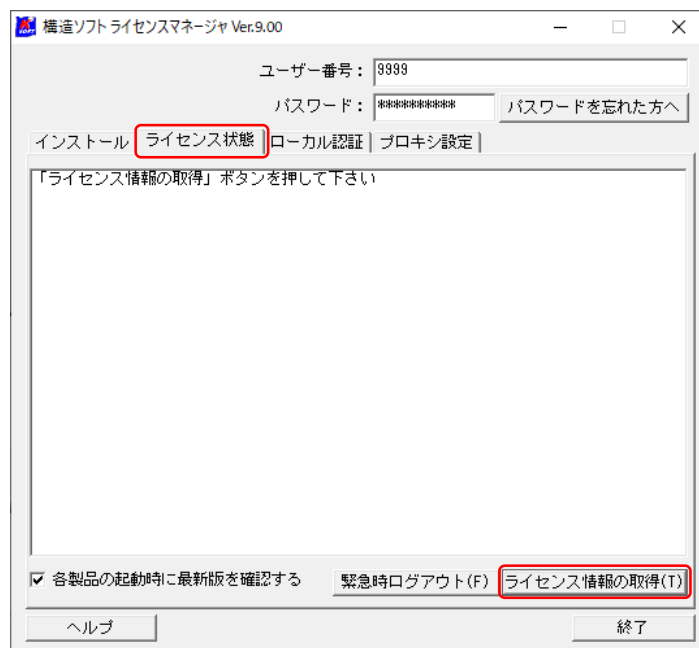
- 1) 「構造ソフト ライセンスマネージャ」が起動したら、[プロキシ設定]タブを選択します。



- 2) 「GET メソッドを使用する」にチェック (☑) を入れて、[適用 (A)] ボタンを押します。



- 3) [ライセンス状態] タブを選択し、[ライセンス情報の取得] ボタンを押して、ライセンスの取得ができるか確認します。所有している製品名が表示されれば設定は完了です。



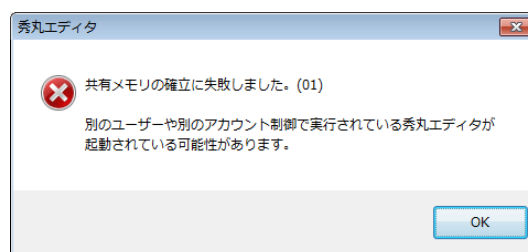
- 4) 上記の設定でも認証ができない場合は、御社の通信環境が特殊な環境となっています。貴社のネットワーク管理者から、弊社の技術サポート部までご連絡ください。

1.8 Q&A

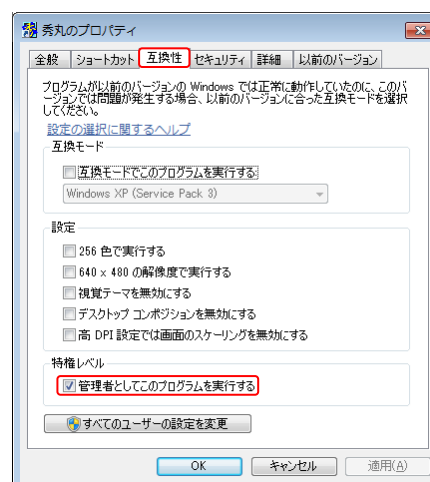
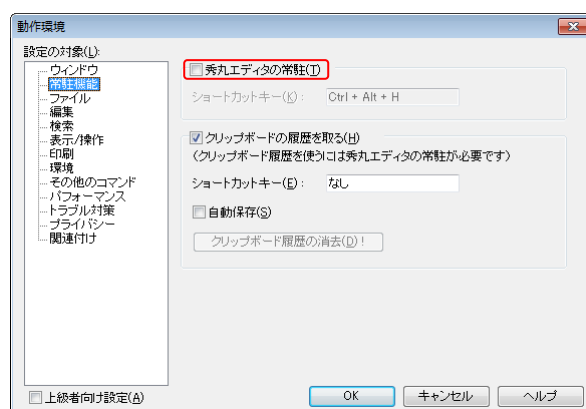
Q 1. 「構造ソフト ライセンスマネージャ」 で入力するユーザー番号とパスワードが分かりません。

A 1. ユーザー番号とパスワードは、構造ソフト出荷係 (shukka@kozosoftware.co.jp) より製品ご購入時に送信しましたメールに記載されております。万が一、紛失されたりパスワードが分からなくなった場合は、構造ソフト出荷係 (shukka@kozosoftware.co.jp) までメールでご連絡ください。弊社に登録されたお客様のメールアドレスに再送信させていただきます。なお、セキュリティの関係上、弊社にユーザー登録されているメールアドレス以外に送信することはできませんのでご了承ください。

Q 2. 「秀丸エディタ」を使用している製品で、入力データを開いた時に「共有メモリの確立に失敗しました」のエラーが発生します。

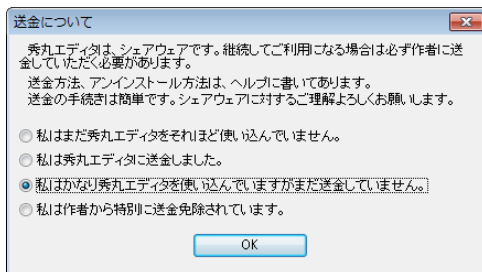


A 2. 「秀丸エディタ」を Windows のタスクバーに常駐させていると、入力データを開いた際にこのエラーが発生します。「秀丸エディタ」を Windows のタスクバーに常駐させる必要が無いようでしたら、[スタート]—[すべてのプログラム]—[秀丸]で「秀丸エディタ」を起動し、[その他(O)]メニューの[動作環境(F)...]を選択します。画面左から「常駐機能」を選択し、「秀丸エディタの常駐」のチェックボックスを OFF にしてください (左下の図参照)。

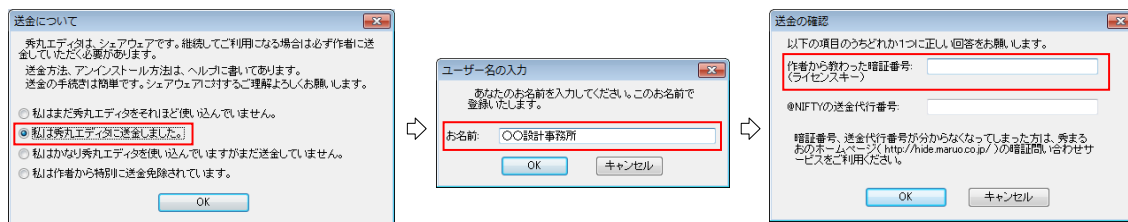


もし、「秀丸エディタ」を Windows のタスクバーに常駐させておきたい場合は、[スタート]—[すべてのプログラム]—[秀丸]を右クリックして[プロパティ(R)]を開き、[互換性]タブで「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックボックスを ON にしてください(右上の図参照)。

Q 3. 「秀丸エディタ」を使用している製品で、入力データを開いた時に「秀丸エディタは、シェアウェアです。継続してご利用になる場合は必ず作者に送金していただく必要があります。」というメッセージが表示されてしまいます。



A 3. 「秀丸エディタ」は作者の了解を得て、弊社プログラムに組み込まれていますので、お客様が送金を行う必要はありません。通常、「構造ソフト ライセンスマネージャ」からのインストール、または弊社製品をインストールしている状態で弊社ホームページからダウンロードできる「秀丸エディタ」をインストールしていただければ、このメッセージは表示されません。ただし、1台のPCを複数人で使用し、かつ各人ごとにユーザーアカウントを用意して運用している場合、インストールを行った管理者 (Administrator) 以外のユーザーアカウントで「秀丸エディタ」を起動した場合に、このメッセージが表示されます。この場合は、「私は秀丸エディタに送金しました。」を選択して[OK]ボタンを押します。続いて、ユーザー名の入力で「お名前」の入力を行い[OK]ボタンを押し、送金確認で「作者から教わった暗礁番号 (ライセンスキー)」を入力して[OK]ボタンを押します。



なお、「作者から教わった暗礁番号 (ライセンスキー)」は、弊社製品を初めてご購入いただいた際に書面で郵送している「秀丸エディタ」の「使用許諾契約書」の (ハ) の欄に記載されています。

Q 4. 「構造ソフト ライセンスマネージャ」を起動し、[ライセンス状態]タブの[ライセンス情報の取得]ボタンを押した時に、ライセンス情報が正しく取得できません。また、[インストール]タブからインストールを行おうとした時にも、ライセンスが確認できない旨のメッセージが表示されてインストールできません。

A 4. セキュリティソフトにより通信がブロックされていると思われます。ファイアウォール関連のセキュリティソフトでは、指定したファイルに対して通信を許可することができますので、以下のファイルを「通信許可」に設定してください。

「構造ソフト ライセンスマネージャ」

C:\Ksoft\License Manager\LicMan.exe

「現場ナビ工程」をお使いの場合は、以下のファイルについても設定を行ってください。

C:\KSOFT\現場ナビ工程\NaviKoutei.exe

「物件管理システム」をお使いの場合は、以下のファイルについても設定を行ってください。

「構造ソフト物件管理システムランチャー」

C:\Ksoft\BUILD2K\BUILD2000.exe

C:\Ksoft\BUILD2K\BUILD2000U.exe

「Java(TM) Platform SE binary」

C:\Ksoft\Jre*_?_?bin\javaw.exe

(???はお使いのPCの環境により異なりますが、数値が入ります。)

なお、設定方法はセキュリティソフトにより異なりますので、セキュリティソフトのヘルプ等を参照してください。